令和4年第1回区づくり推進横浜市会議員会議(港北区)

日 時:令和4年2月4日(金)

議員団会議終了後

場所:Web会議

議題

1 令和4年度個性ある区づくり推進費予算(案)について

2 その他

令 和 4 年 第 1 回 区づくり推進横浜市会議員会議資料 令 和 4 年 2 月 4 日 港 北 区

予算編成の考え方

~活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」~

ウィズコロナ、アフターコロナを見越して、従来の活動を再開することに加え、新しい時代に即した多様な地域活動の支援や地域の結びつきの強化を図ります。そのためにICTの活用促進により、自治会町内会や商店街等の地域の皆さまと協働して、地域の更なる活性化を目指した事業に取り組みます。特に、地域の課題やニーズに迅速かつ細やかに対応でき、また地域の魅力づくりに向けた予算を積極的に計上しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

1 安心して安全に暮らせるまちづくり

33.855千円

合計:109,251千円

震災や風水害への対策のために、避難所資機材の充実を図るとともに、情報発信の強化により自助・共助の推進を図ります。また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策や食中毒防止対策など、区民生活の安心・安全を守る取組を進めます。さらに、子どもや高齢者を対象とした交通安全及び防犯対策を引き続き実施していきます。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、快適な暮らしの衛生応援事業、交通安全 無事故でカエル事業

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

19.910千円

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを目指し、妊婦さんとパートナーへ向けた子育て体験や、0歳 児と保護者を対象とした地域育児教室、学齢期の生活支援等の妊娠期から「切れ目のない子育て支援」を 実施するとともに、研修会等を通じて認知症施策の推進や、障害に対する理解の啓発に取り組みます。

《主な事業》地域子育てサポート事業、港北区版寄り添い型生活支援専門員事業、

高齢者・障害者支え合い推進事業

3 活気にあふれるまちづくり

37.609千円

コロナ禍で開催が難しくなった各種イベント等の開催に際しインターネット、SNS等を活用する取組を推進するほか、区内商店街や地域活動団体、自治会町内会等に対してICT化支援を進め、地域がICTを活用してつながりがより強化されるよう支援します。また、区が保有するデータを区民・区内事業者等が二次活用できる形式で順次公表していくために、データの維持管理の仕組みづくりを検討します。

《主な事業》地域振興活動事業、港北区商店街活性化事業、データ活用によるまちづくり推進事業

4 区民サービス向上に向けた取組

17.877千円

戸籍課窓口の待ち時間の解消のため、郵送やオンラインでできる手続きや、混雑集中日の広報を実施します。また、区庁舎・区民利用施設の環境改善等、区民サービス向上に向けた取組を進めます。

《主な事業》戸籍課案内サービス向上事業、区民サービス向上・環境改善促進事業

令 和 4 年 第 1 回 区づくり推進横浜市会議員会議資料 令 和 4 年 2 月 4 日 港 北 区

資料2

令和4年度 個性ある区づくり推進費 予算(案)について



港北区

令和4年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表 (単位:千円)

		4年度予算額	3年度予算額	増 ▲減(増減率)
(1)	自主企画事業費	109,251	119,118	▲ 9,867 (▲ 8.3%)
(2)	統合事務事業費	53,686	54,569	▲ 883 (▲ 1.6%)
	統合事務費	30,114	31,884	▲ 1,770 (▲ 5.6%)
	統合事業費	23,572	22,685	887 (3.9%)
(3)	区庁舎・区民利用施設管理費	564,910	570,469	▲ 5,559 (▲ 1.0%)
	合 計	727,847	744,156	▲ 16,309 (▲ 2.2%)

2 内訳

(1)自主企画事業費 (単位:千円)

(1)日土正四争未貨					(単位:十円)
区 分	4年度 予算額	3年度 予算額	増▲減	(増減率)	主な事業名〔主な増減理由〕
1 安心して安全に 暮らせるまちづくり	33,855	32,859	996	(3.0%)	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業 [区災害対策本部の情報受伝達手段の拡充に よる増など]
2 地域で支えあう 福祉・保健の まちづくり	19,910	20,475	▲ 565		・地域子育てサポート事業 ・港北区版寄り添い型生活支援専門員事業 〔樽町地域ケアプラザ綱島分室の相談室と交 流室を集約して効率化したことによる減など〕
3 活気にあふれる まちづくり	37,609	48,391	▲ 10,782((▲ 22.3%)	・育もう「ふるさと港北」事業 ・データ活用によるまちづくり推進事業 〔東京2020オリンピック・パラリンピックが終了し 大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづく り事業が終了したことによる減など〕
4 区民サービス向上 に向けた取組	17,877	17,393	484	(2.8%)	・区民サービス向上・環境改善促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業 〔戸籍課窓口の分散利用を促す広報による増など〕
合 計	109,251	119,118	▲ 9,867	(▲ 8.3%)	

(2)統合事務事業費 (単位:千円)

区分	4年度 予算額	3年度 予算額	増▲減 (増減率)	主な事業内容〔主な増減理由〕
統合事務費	30,114	31,884	▲ 1,770 (▲ 5.6%)	区役所業務の事務経費 [過年度実績による減]
統合事業費	23,572	22,685	887 (3.9%)	・広報よこはま区版発行事業 ・広聴相談事業 ・消費生活推進員事業 ・青少年活動支援事業 ・緊急時情報伝達システム運用事業 ・スポーツ推進委員支援事業 ・クリーンタウン横浜事業 ・学校・家庭・地域連携事業 〔広報よこはま区版の印刷部数増に伴う 増など〕
合 計	53,686	54,569	▲ 883 (▲ 1.6%)	

(3)区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区分	4年度 予算額	3年度 予算額	増▲減 (増減率)	主な事業内容〔主な増減理由〕
(1)区庁舎等管理費	81,107	83,873	▲ 2,766 (▲ 3.3%)	港北区総合庁舎、土木事務所、 行政サービスコーナー(2か所) [区庁舎屋上庭園の再整備の完了に伴う 減など]
(2)区版市民活動支援 センター管理費	215	248	▲ 33 (▲ 13.3%)	港北区区民活動支援センター [過年度実績等による減]
(3)地区センター等管理費	233,573	234,112	▲ 539 (▲ 0.2%)	地区センター(6か所) スポーツ会館 [指定管理料の減]
(4)青少年施設管理費	9,315	8,706	609 (7.0%)	こどもログハウス [指定管理料の増]
(5)公会堂管理費	20,802	20,694	108 (0.5%)	〔賃金水準スライド分対応による増〕
(6)老人福祉センター等 管理費	42,585	45,378	▲ 2,793 (▲ 6.2%)	老人福祉センター [指定管理料の減]
(7)コミュニティハウス 管理費	84,346	83,893	453 (0.5%)	コミュニティハウス(3か所) 学校施設活用型コミュニティハウス (3か所) [学校施設活用型コミュニティハウスの 人件費の増など]
(8)区スポーツセンター管理費	23,376	23,718	▲ 342 (▲ 1.4%)	スポーツセンター [指定管理料の減]
(9)広場・遊び場等管理費	17,087	16,258	829 (5.1%)	国際交流ラウンジ 広場・遊び場等(14か所) [広場・遊び場の設置個所増に伴う委託料 の増など]
(10)区庁舎·区民利用 施設修繕費	3,654	5,765	▲ 2,111 (▲ 36.6%)	小破修繕等 [過年度実績等による減]
(11)区庁舎等光熱水費	48,850	47,824	1,026 (2.1%)	港北区総合庁舎、公会堂、土木事務所、 行政サービスコーナー(2か所) [過年度実績等による増]
合 計	564,910	570,469	▲ 5,559 (▲ 1.0%)	

自主企画事業 目次

	事業名	掲載頁
1	安心して安全に暮らせるまちづくり	
	(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4
	(2) 災害時医療整備事業	8
	(3) 快適な暮らしの衛生応援事業	9
	(4) 交通安全 無事故でカエル事業	10
	(5) 放置自転車対策事業	13
	(6) 港北AAA(安全で安心な明日を)地域防犯力向上作戦	15
2	地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	
	(1)「ひっとプラン港北」推進事業	17
	(2) 地域子育てサポート事業	18
	(3)区内保育所PR事業	23
	(4) 港北区放課後児童健全育成強化事業	25
	(5)離乳食教室	26
	(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	27
	(7) 港北区版寄り添い型生活支援専門員事業	31
3	活気にあふれるまちづくり	
	(1)地域スポーツ推進事業	32
	(2) 港北区商店街活性化事業	34
	(3) ウォーキングから始まる健康づくり事業	36
	(4) 育もう「ふるさと港北」事業	38
	(5) 地域のチカラ応援事業	41
	(6) 港北魅力発見事業	43
	(7) 芸術文化振興事業	45
	(8) 区民活動支援事業	47
	(9) 地域振興活動事業	48
	(10) 読書活動推進事業	50
	(11) こうほく3R推進事業	52
	(12) 港北エコアクション推進事業	54
	(13) データ活用によるまちづくり推進事業	56
	(14) まちづくり調整費	58
4	区民サービス向上に向けた取組	
	(1) 港北区PR情報発信事業	60
	(2)戸籍課案内サービス向上事業	61
	(3) 「仕事力向上」職員育成事業	63
	(4) 区民サービス向上・環境改善促進事業	64
《参:	考》統合事業費	
	広報よこはま区版発行事業	65
	広聴相談事業	66
	消費生活推進員事業	67
	青少年活動支援事業	68
	スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	32
	クリーンタウン横浜事業 ※こうほく3R推進事業の頁に掲載	53

1 - (1)

災害に強いまちづく り推進事業

(単位:千円)

4予算	22,809
3予算	21,604
増▲減	1,205

総務課

【差引理由】

啓発冊子作成による増 など

実施内容

【事業の概要】

避難所等における感染症対策としてパーテーションを配備し、3密を回避するための資機材を整備します。また、風水害時の被害防止に向けて、新たな啓発冊子を作成し、区民に周知するほか、防災キャラバンのメニュー拡充など、自助・共助の推進を図ります。さらに、各種訓練を実施するなど区本部の体制強化を図ります。

【主な内容】

1 避難所等資機材の充実強化 【(4)8,154千円、(3)7,904千円】

(1) 感染症対策等資機材の整備

避難者のソーシャルディスタンスを確保するため、避難者用のパーテーションを順次整備し、災害時に区本部からの要請に基づいて供給される段ボール製間仕切り等の資機材も活用して、避難所等における新型コロナウイルス感染拡大防止を図ります。





【パーテーションイメージ】

(2) 地域防災拠点運営委員会向け補助金《新規》

風水害時の避難場所運営を強化するため、地域防災拠点運営委員会向けに日頃の活動や資機材の購入費用等として補助金を交付します。

(3) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機、エンジンカッター等の資 機材について、修繕・更新を行います。

(4) 地域防災拠点訓練参加者向け保険

区内29拠点で実施される地域防災拠点訓練参加者が、訓練時に負傷 した場合に備え、傷害保険に加入します。

2 災害時の情報発信の強化及び自助・共助の啓発

【(4)7,410千円、(3)6,940千円】

(1) 風水害時の啓発冊子の作成《新規》

鶴見川の防災の専門家と協働で風水害時の避難行動等の情報を盛り 込んだ啓発冊子を作成し、区民に配布します。

(2) 帰宅困難者対策用の啓発冊子の作成《新規》

震災時の帰宅困難者を抑制するため、新横浜駅等周辺の事業者に対し、従業員の一斉帰宅抑制と食料を備蓄いただくための啓発冊子を作成し、帰宅困難者対策訓練で配付するとともに、新横浜駅等で配架します。

(3) まるごとまちごとハザードマップの実施《新規》

地区連合単位で電柱に想定浸水深を示した看板を設置し、日頃から 視覚的に危険な場所の啓発を実施します。4年度は初年度になるため、 モデル的に2地区連合で実施し、事業の進め方などを検証し、次年度 に生かします。

(4) 港北区防災情報アプリの運用・改修

スマートフォン等で災害情報等を確認できる「港北区防災情報アプリ」を運用します。併せて安定的に稼働させるため、アプリの保守を 実施します。

【ダウンロード数(3年12月末現在)】

21,749件 (iOS, Andoroid)

※3年3月末時点 19,492件

(5) 防災講演会の実施

港北区民を対象に外部講師を招き、災害をテーマとした防災講演会 を実施します。

(6) 防災マップ、各種ハザードマップ等の印刷

日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認いただくため に防災マップ・各種ハザードマップ等を印刷します。

(7) 防災キャラバン等の実施《拡充》

自治会町内会向けの出前講座(防災キャラバン等)を通じて多くの 区民へ防災意識の醸成を行います。4年度から講座のメニューを拡充 します。

【防災キャラバン等の実施状況】※3年度は申込状況(12月末現在)

年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
地 区	4地区	6 地区	8 地区	10地区	5地区
参加者	118人	268人	299人	369人	-

※3年度の5地区のうち、1地区は新型コロナウイルス感染症の緊急 事態宣言中だったため、中止



【まるごとまちごと ハザードマップ】



【防災キャラバンの 様子】

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(4)1,008 千円、(3)1,008 千円】

避難勧告等の緊急情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを、避難情報を発令する区域等に居住する配信希望者等を中心に運用します。

【対象区域内の配信希望者等(2,931件)】(12月末現在)

- ・洪水浸水想定区域内災害時要援護者 2,593件
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域となる 新羽地区・小机町の一部の住民 193件
- ・自治会及び町内会の会長(区内全域) 142件
- ・土砂災害警戒情報発表に伴う 即時避難勧告対象の区域の住民 3件

3 区災害対策本部の充実 【(4)6,875千円、(3)5,500千円】

(1) IP無線機やタブレットを活用した円滑な情報受伝達の強化

2年度導入したIP無線機を活用し、大規模災害時でも円滑に避難所等との情報受伝達が行えるよう運用します。

併せて、タブレットを購入し、情報受伝達 手段を拡充します。

【IP 無線機の特徴】

- ・同時通話が可能
- ・全国どこでも通信可能

(2) 災害時における避難場所等運営

災害時において地区センターや濃厚接触者等の専用避難場所を開設した場合に施設使用料を負担します。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練を実施します。

- · 転入責任職研修(4月)
- ·風水害時避難場所運営責任者研修 (7月)
- ・震災対策区本部訓練(9月、5年1月)
- ・区職員向け動員訓練(9月~12月)



【区本部訓練の様子】



(4) 港北区災害対策本部の備蓄品整備等

区本部の備蓄品整備や更新、災害時の連絡体制確立のための各種 通信機器を維持・管理します。また、深夜等の発災時の迅速な職員参 集を目的とした自動車借上げを行います。

【参考】帰宅困難者対策の実施

○新横浜駅周辺混乱防止対策訓練の実施

新横浜駅周辺の鉄道やホテル等の事業者、地域住民等と連携し、震災時の帰宅困難者対策を円滑に行うための訓練を実施します(5年3月予定)。



○帰宅困難者一時滞在施設の拡充

区内の民間企業や私立学校などの協力をいただきながら、新 横浜駅周辺などにおいて帰宅困難者一時滞在施設の拡充を図り ます。

4 各種団体への補助等 【(4)370千円、(3)260千円】

(1) 災害ボランティア連絡会への補助

発災時に円滑にボランティア活動が実施できるように、コーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として港北区災害ボランティア連絡会に補助します。

(2) アマチュア無線非常通信協力会の無線機の整備費 地域防災拠点に整備しているアマチュア無線機器について、新スプ リアス規格に対応した機器を整備します。

[総務局区配]

- ・地域活動奨励助成金:区内29か所の地域防災拠点へ助成 (1拠点あたり12万円交付)
- ・「町の防災組織」活動費補助金:町の防災組織へ補助 (1世帯あたり160円交付)

※東京2020オリンピック・パラリンピック危機管理体制の強化

【(4)0千円、(3)1,000千円】

大会が終了したことにより、3年度で終了しました。

1 - (2)

災害時医療整備事業

(単位:千円)

4予算	397
3予算	277
増▲減	120

福祉保健課

【差引理由】

港北区医師会との連 携推進による増



【災害医療連絡会議】



【医療救護隊

実地訓練】



【ソナース募集 リーフレット】

実施内容

【事業の概要】

区防災計画(震災対策編)における災害時医療等の対策を講じるため、関係機関との各種会議の開催や医療救護隊等の訓練を実施するとともに、体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナースの登録促進を進めます。

【主な内容】

1 医療救護に関する関係機関との連絡会議の開催

[(4)20千円、(3)65千円]

- ・災害医療連絡会議の開催(年3回程度) 災害拠点病院等を含めた関係機関による協議のため、災害医療連絡会 議を定期的に開催します。
- ※ 参加機関…三師会、災害拠点病院、災害協力病院、地域防災拠点運営委員会代表、訪問看護ステーション、警察、消防他行政関係機関
- **2 医療救護隊訓練の実施 【(4)50千円、(3)50千円】**

医療救護隊が発災時に迅速に活動できるよう訓練を実施します。

- ・医療救護隊実地訓練(7~12月) 参集訓練(区医師会館・日吉台中学校コミュニティスクール)ほか
- ・のぼり旗、フラッグ掲出訓練(年2回:9月及び1月)
- ·通信訓練 局⇔区:年6回

区⇔医療機関:年4回

- **3 医療救護隊用装備品の整備 【(4)**164千円、(3)119千円】
 - ・医療救護隊及び保健活動グループの活動や訓練に必要となる、事務用 品や装備品の購入。新型コロナウイルス感染防止対策のための装備品 の購入
- 4 災害支援ナースの登録促進と管理 【(4)43千円、(3)43千円】

(登録者:67人)(3年12月末現在)

- ・Yナース募集リーフレットの配布 区医師会を通じて、診療所に勤務する看護師の登録を勧奨するほか、 看護師免許申請時等の登録受付を随時実施
- ・広報よこはまへの募集案内掲載
- ・研修、訓練の実施 県看護協会や医療局が主催する研修及び医療救護隊訓練への参加を 依頼します。
- 5 港北区医師会等との連携推進 【(4)120千円】《新規》

港北区医師会に加入し、各種会議及び研修への参加を通じて、一層の 連携促進、災害医療体制の構築を図ります。

1 - (3)

快適な暮らしの衛生 応援事業

(単位:千円)

4予算	555
3予算	571
増▲減	▲ 16

生活衛生課

実施内容

【事業の概要】

食の安全や各種施設の衛生確保、動物の適正飼育や災害時のペット対策の 啓発を行います。

【主な内容】

- 1 **食中毒・感染症防止対策** 【(4)365千円、(3)381千円】
 - (1) 食中毒・感染症予防のための監視事業
 - ・食中毒・感染症予防啓発資料の作成

【食中毒等発生状况】

		29年	30年	元年	2年	3年 (12月末現在)
食中毒	件数	3件	7件	4件	3件	2件
及中母	患者数	62人	62人	48人	24人	7人
感染症*	件数	26件	22件	26件	22件	35件
恐呆址~	患者数	241人	181人	310人	41人	274人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌、レジオネラ症等

(2) 衛生講習会の実施

・事業者の衛生管理向上のため講習会を実施

【講習会実施回数】

29年度	30年度	元年度	2年度	3 年度 (12月末現在)
33回	38回	26回	9回	7 回

2 ペットのマナー啓発と災害時のペット対策

【(4)190千円、(3)190千円】

- ・動物の適正飼育に関する啓発、指導(通年)
- ・ 資料を用いた飼い犬の散歩マナー向上啓発 (通年)
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発(4月)
- ・地域防災拠点運営委員会連絡会等での啓発 (5月~12月)





【マナー・防災に関する啓発資料】

【ペットのマナー・防災対策教室】

1 - (4)

交通安全 無事故でカエル事業

(単位:千円)

4予算	5,066
3予算	5,224
増▲減	▲ 158

地域振興課

【差引理由】

交通安全運動事業等の 実績に基づく減

実施内容

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力した啓発活動を 行います。特に、子どもと高齢者に対象を絞って事業を実施します。

【主な内容】

- 1 児童交通安全対策事業 【(4)4,641千円、(3)4,635千円】
 - ・「はまっ子交通あんぜん教室」の区内全小学校26校での実施 低学年には歩行者教室、高学年には自転車教室を実施します。
 - ・「中学生 交通安全授業」の区内中学校3校で実施
 - ・交通安全ポスターコンクールの開催(8~9月募集)と表彰(12月) 各小学校児童からの応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、入賞作品 は、翌年の交通安全カレンダーに使用します。
 - ・区内スクールゾーン対策協議会への助成金交付
 - ・スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱巻看板の更新、設置



【はまっ子交通あんぜん教室】



【中学生交通安全教室】



【スクールゾーン路面標示】



【2022年港北区交通安全カレンダー】

- 2 交通安全運動事業 【(4)166千円、(3)185千円】
- (1) 各種交通安全キャンペーンの実施
 - ・春の全国交通安全運動キャンペーン
 - ・夏の交通事故防止運動キャンペーン
 - ・秋の全国交通安全運動キャンペーン
 - ・年末の交通事故防止運動キャンペーン
 - ・その他、自転車・二輪車に関するキャンペーン等の実施

(2)「安全・安心のつどい」の開催

防犯活動功労者伝達式等と併せて、交通安全功労者表彰、ポスター コンクール入賞者表彰、交通安全講話等を行います。(年1回)



【運転卒業者おトク 事業実施店ステッカー】

3 高齢者等交通安全事業 【(4)200千円、(3)300千円】

高齢者の交通事故対策として、次の事業を行います。

(1) 高齢者免許返納の促進

商店街と連携し、免許を返納した高齢者に対し、運転免許経歴書の提示により、店舗にて特典を付与する「運転卒業者おトク事業」を継続して実施します。

協力店舗数 26店舗(3年12月末現在)

(2) 高齢者交通安全教室の開催

(ドライビングスクールでの体験型交通安全教室)

高齢者交通安全教室を、菊名ドライビングスクール及び日吉自動車学校の2か所で行います。

- ・高齢ドライバーの運転実技講習
- ・衝突・巻き込み実験
- ・道路の歩き方、自転車の乗り方の実技講習
- ・サポートカー試乗による安全運転講習の実施

【参考】

参加者数の推移

	29 年度	30 年度※	元年度※	2年度	3年度
参加者数	8人	19 人	37 人	中止	中止

※ 30年度より、サポートカー試乗による安全運転講習を実施。

(3) シルバーウォークラリーの開催(年2回)

- ・道路の歩き方等を指導し、目的地までのウォーキング
- ・身体機能テストを含む交通安全講話

【参考】

参加者数の推移

		29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
	春開催	28 人	22 人	33 人	由止	由止
Ī	秋開催	30 人	32 人	36 人	十二	十二



【サポートカー体験実習】



【シルバーウォークラリー】



【電柱巻看板】

4 子育て関連施設交通安全対策事業 【(4)59千円、(3)104千円】

保育園・幼稚園などの子育て関連施設周辺に、施設の存在を知らせ子 どものとび出しに注意を促す「電柱巻看板」を、新規開園等の施設付近 の電柱に設置します。

【参考】

港北区の交通事故件数等 (暦年)

12 12 2 3 4 2 1 3 1 1 3 1 4 1 7							
	29 年	30年	元年	2年	3年 (10月末現在)		
交通事故件数	855 件	686 件	593 件	526 件	402 件		
死亡者数	3人	2人	3人	5人	1人		
負傷者数	968 人	783 人	685 人	572 人	452 人		

実施内容

1 - (5)

放置自転車対策事業

(単位:千円)

4予算	4,376
3予算	4,531
増▲減	▲ 155

地域振興課

【差引理由】

自転車撤去委託費の過 去3年間の実績に基づ く減

【事業の概要】

自転車等の放置が著しい駅周辺への自転車等放置防止監視員の配置や撤去 活動により、駅前の歩行者の安全確保を図ります。

また、区独自の撤去活動及びキャンペーンによる啓発活動を行い、自転車等の放置防止を促します。

【主な内容】

1 監視員事業 【(4)3,728千円、(3)3,728千円】

区全体の放置台数が減少しているため、放置自転車の防止やマナーアップ等を図る監視員を全体では配置数を減らします。しかし、乗降者数の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、集中的に配置します。 (道路局予算と合算して執行)

·年間配置数:1,752回(予定)

【駅ごとの延べ配置数(1回あたり1人3時間)】

	4年度 計画	【参考】3年度 実績						
駅	4年度配	已置数	3年度配置数					
利人	週	年	週	年				
日吉	9回	432回	11回	504回				
綱島	21回	1,008回	23回	1,112回				
新横浜	4回	192回	4回	222回				
大倉山	2回	72回	1回	40回				
小机	0回	0回		26回				
新羽	1回	48回	1回	48回				
合計	37回	1,752回	40回	1,952回				

【参考】

区内全駅の1日における放置台数(合計)

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
放置台数	583	444	422	365	186
駐輪場台数	19, 329	19, 619	19, 896	19, 981	19, 949

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋 (11月の平日の晴天時、午前9時から午後3時までに放置されていた台数)

[道路局区配]

自転車マナーアップ事業

・自転車放置防止監視員の配置(区づくり推進費と合算して執行)

2 放置自転車等撤去事業 【(4)90千円、(3)230千円】

来街者も多く放置自転車の多い日吉駅、綱島駅及び新横浜駅については、集中的な対策を維持する必要があるため、3年度に引き続き、4年度についても休日も含め道路局が撤去を実施します。

3駅以外の駅については引き続き平日は道路局が行うとともに、休日 については、各駅の放置の状況に鑑み計画回数は減らすものの、引き続 き必要に応じて区が実施します。

【道路局と区役所が実施する各駅の撤去回数(回/年間)】

年度	4年度 計画		【参考】3年度 実績			績
曜日	平日	休日	平日		休日	
実施者	道路局	道路局・港北 区	道路局		道路月	高・港北区
	計画	計画	計画	実績	計画	実績
日吉	50 回	以重によい	50 回	31 回	24 回	11 回
綱島	140 回	必要に応じ て局で実施	140 回	86 回	48 回	23 回
新横浜	50 回		50 回	39 回	24 回	11 回
大倉山	24 回		24 回	24 回	必要に応じて	0 回
菊名	12 回		12 回	43 回		0 回
妙蓮寺	12 回		12 回	19 回		0 回
新羽	12 回	必要に応じて	12 回	21 回		0 回
小机	12 回	区で実施	12 回	21 回	区で	0 回
高田	6 回		6 回	13 回	実施	0 回
岸根公園	6 回		6 回	13 回	大心	0 回
日吉本町	6 回		6 回	13 回		0 回

3 地域活動事業 【(4)558千円、(3)573千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成(10協議会) するとともに、協議会が放置自転車クリーンキャンペーンなどの活動を 行う際に使用する物品等を配布し、各駅の状況に応じた協議会の活動を 支援します。

また、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、 区内の各駅協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会」 を開催します。

1 - (6)

港北 A A A (安全で 安心な明日を)地域 防犯力向上作戦事業

(単位:千円)

4予算	652
3予算	652
増▲減	0

地域振興課



【防犯のぼり】



【「子ども 110 番の家」 プレート】

実施内容

【事業の概要】

地域の要望にあわせた防犯関連物品等の提供を行い、区民が主体となって防 犯活動を行うことができるような支援を行います。

あわせて、区内の犯罪発生状況を迅速に提供し、地域の防犯活動に役立てていただくことに加え、特殊詐欺の手口や対策の周知を積極的に行うことで地域の防犯力の向上と安全で安心なまちの実現を目指します。

【主な内容】

1 防犯情報メールの配信 【(4) 132千円、(3) 132千円】

毎日警察と犯罪発生状況を共有し、登録者の携帯電話やパソコン、FAXで犯罪発生状況や防犯情報を配信します。また、特殊詐欺の前兆電話があったという情報が、警察や区民から区役所に複数寄せられた際に、「特殊詐欺警報」として即時に注意喚起の防犯情報メールを配信します。

【防犯情報メール登録者数】

	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	3年度 (12月末現在)
登録者数	7,734人	8,750人	9,711人	10,622人	11, 163人

- 2 防犯啓発活動 【(4) 300千円、(3) 300千円】
- (1) 防犯パトロール関連物品の作成配付

「のぼり旗」や「ベスト」など、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作成、配付し、地域の防犯活動を支援します。

(2) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた職員が、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で回り、防犯パトロール及び放送による防犯啓発を行います。

4年度も、引き続き警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が 多様化している詐欺等その時々の状況に合わせた注意を呼び掛けます。

(3) 港北AAA (安全で安心な明日を) 作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や防犯関係団体、地域、学校、事業者、 行政の各関係者による「港北AAA作戦会議」を開催します。(6月)

- **3** 「子ども110番の家」ネットワーク会議 【(4)0千円、(3)120千円】
 - ・各小学校の「子ども110番の家」活動の情報交換を目的とした「子ども 110番の家ネットワーク会議」を開催します。(9月)

「市民局区配」

・地域防犯啓発事業 子ども110番の家プレートの作成



【啓発チラシ】

4 特殊詐欺対策機器設置事業 【(4)220千円、(3)100千円】《拡充》 特殊詐欺被害が近隣地域に比べ突出して多いことから、特殊詐欺対策に 有効な迷惑電話防止機能付き電話機について広報を行い、各家庭での電話 機設置を促すと同時に、警察等関係各所と連動して特殊詐欺防止の啓発を 実施します。

【参考】

港北区内犯罪発生状況 (暦年)

	29年	30年	元年	2年	3年
犯罪発生件数	2, 155件	1,735件	1,453件	1,109件	1,215件
特殊詐欺	96件	58件	74件	35件	58件
同被害額	3億3,900万円	2億4,800万円	1億8,400万円	5500万円	1億4,345万円

事業名等 2-(1)

「ひっとプラン港北」 推進事業

(単位:千円)

4予算	1,245
3予算	1,739
増▲減	▲ 494

福祉保健課

【差引理由】

第4期計画策定に係る 委託費の減



【第4期計画冊子】

実施内容

【事業の概要】

身近な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画(ひっとプラン港北)」の区計画の推進と13地区ごとに策定した地区計画の推進を支援します。

【主な内容】

- **1 区計画推進・地区計画推進支援【(4)**595千円、(3)909千円】
 - ・区計画を推進するとともに、地区計画サポートスタッフ(区役所・区 社会福祉協議会・地域ケアプラザの各職員)による各地区の状況に応 じた地区計画推進の支援を実施(通年)
 - ・「ひっとプラン港北」策定・推進会議の開催(2月)
- 2 計画周知·啓発 【(4)650千円、(3)830千円】
 - (1) 地域活動への参加を促す広報企画 若い世代の地域活動への参加を促す啓発を行います。(9月)
 - (2) 区計画及び地区計画の印刷・配布
 - ・第4期区計画冊子及び概要版、地区計画リーフレットの印刷(10月)
 - ・「ひっとプラン港北 地区計画ニュース」の発行(3月)
 - (3) 「港北ほくほくフェスタ」区民フォーラムの開催
 - ・「港北ほくほくフェスタ」において区民フォーラムを実施し、第4期港北区地域福祉保健計画を周知します。(10月)

【「港北ほくほくフェスタ」区民フォーラムへの参加者数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
参加者数	600人	480人	75人	中止	中止

※29年度までは、社会福祉大会参加者数と合算

※元年度:荒天のため延期。2年2月に規模を縮小して開催

※2年度:新型コロナウイルスの影響により中止 ※3年度:新型コロナウイルスの影響により中止

2 - (2)

地域子育てサポート 事業

4予算	9,667
3予算	9,110
増▲減	557

こども家庭支援課

【差引理由】

土曜両親教室を区局連 携事業から移管したこ とによる増

実施内容

【事業の概要】

港北区は20~30歳代の転出入件数、出生数及び乳幼児人口、就学前児童数が (単位:千円) | 市内で最も多い状況にあります。こうした中、「相談相手がいない」「閉じこも りがちになる」などの子育てに不安を抱えた区民が多数存在しているととも に、児童虐待や障害児対応などの専門性の高いケースへの支援の必要性も 年々高まっています。そのため、安心して子育てをしていくためには、地域に おける子育て支援が重要です。

> 一言に「子育て支援」といっても子育て家庭におけるニーズは多種多様であ り、様々な形の支援の在り方が求められています。

> 具体的には、①養育者一人一人に応じた育児支援、②児童虐待防止、③認可 保育所等を活用した地域における子育て環境づくりといった多角的なアプロ ーチにより地域子育て支援を行っていきます。

【主な内容】

「親と子のつどいの広場」妊娠期支援事業

[(4)600千円、(3)900千円]

妊婦等に向けて、地域子育て支援の取組の周知強化を目的とし、マタニ ティプログラムを実施します。

プレパパ・プレママが、同じ地域に住む先輩パパママや他の育児家庭と 交流しながら、沐浴などの子育て体験のプログラム、産まれてくる子ども のためのよだれかけやアルバム制作等を実施します。

場所:親と子のつどいの広場(区内6か所)

回数:24回(4回×6か所)

2 土曜両親教室事業 【(4)1,000千円】

妊婦等に向けて、妊娠期から地域の子育て支援の場とつながるきっか けづくりを推進するため、より多くのパートナーにも参加しやすい土曜 日に産前産後の両親教室を開催します。

4年度は区局連携事業から移管して実施します。

場所:地域子育て支援拠点、地域ケアプラザ等

回数:年60回

3「にんしん・あんしん・つながり」推進事業

[(4)545千円、(3)484千円]

初産婦や転入してきた妊婦等を対象に、地域の子育て支援施設の早期 の利用に向けて、各ひろばの共通利用券をプレゼントし、妊娠中から施設 との接点を作り、身近に感じてもらうことで施設利用のきっかけづくり を行います。

共通利用券の流れ

初産婦を対象とした両親教室の参加者と転入してきた妊婦(窓口交 付)、妊娠8か月の手紙への同封(妊娠届出書提出時に同意した方)に より共通利用券を交付します。

【「にんしん・あんしん・つながり」推進事業利用者数】

	元年度	2年度	3年度	
			(※12月末現在)	
チケット配布枚数	500枚	1,718枚	1,565枚	
プレゼント交換数	56個	187個	370個	

※元年は7月から、2年は9月から実施

※4年度からプレゼントの内容を物品からひろばの共通利用券に変更予定

[こども青少年局事業]

○親と子のつどいの広場補助事業(補助事業)

地域の子育で中の親子(主に0~3歳の未就学児と保護者)を対象に、マンションの一室や商店街の空き店舗などで、「子育て親子の交流」や「子育てに関する相談の実施」、「地域の子育で関連情報の収集・提供などを行っています。

○母子保健コーディネーター(会計年度任用職員)による相談支援 主に妊娠届出時から産後4か月までの継続した相談や支援を実施しま す。

一人ひとりの状況に応じた産後までのスケジュールの確認や、両親教室等の産前産後に利用できるサービスのご案内や訪問等、保護者の不安や負担の軽減を図ります。(年妊娠届出数:約3,500件)

4 地域育児教室(赤ちゃん会)【(4)1,785千円、(3)1,694千円】

0歳児(第1子)とその養育者を対象にした育児支援を目的として、 地域の会場で、赤ちゃんとの手遊びや育児の情報交換、仲間づくりなど を行います。

場所:23会場(自治会館、ケアプラザ等)

回数:230回(月1回)

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3 年度 ※12 月末現在
開催回数	189 回	237 回	211 回	96 回	179 回
実人数	3,052 人	3, 355 人	2,788 人	1,342 人	2,138 人
延べ人数	7,892 人	9,554 人	7,732 人	2, 165 人	4,486 人

※2年度は新型コロナウイルスの影響により7月から再開し8会場で 実施、9月以降は22会場で実施。

※3年度10月から23会場に拡大

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場ごとに定員の上限を設定

5 児童虐待防止対策事業 【(4)965千円、(3)793千円】

児童虐待防止にむけて、要保護児童対策地域協議会(元気っ子育て連絡会)の関係機関が相互連携します。また、ニーズが高まっている学齢期の子育て不安軽減のため、4年度から講座を開催します。

- ・「子どもとの関わり方」講座の開催 (2コース) 上半期 (6~7月) 小学校低学年保護者向け 下半期 (1~3月) 小学校高学年保護者向け
- ・区全体会議を年1回開催(7月予定)
- ・児童虐待防止啓発グッズの作成
- ・ふれあいまつりでの啓発ブースの設置(11月)
- ・民生委員・児童委員協議会地区 (22地区) を単位とするエリア別連絡会 を開催
- ・病院・学校などの関係機関と機関別連絡会を開催

6 歯つらつ1歳児歯みがき教室 【(4)517千円、(3)518千円】

養育者と1歳児等を対象に、育児支援を目的として歯科衛生士による むし歯予防の話や、歯みがきの実習を行います。

場所:区役所健診会場 回数:各部12回(予約制)

【歯みがき教室参加者数】

	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度 ※12 月末現在
参加延べ人数	1,104人	916 人	778 人	143 人	265 人

- ※2年度は新型コロナウイルスの影響により8月より再開
- ※新型コロナウイルス流行の状況下で歯みがきチェックの機会を増やすため、3年10月より対象年齢を変更しました。

午前の部:7か月~9か月頃の方、またはこれから歯みがきをスタートする方

午後の部:12か月~14か月の方で、歯みがきは開始しているけど、分からないことやお悩みのことがある方

7 母乳育児相談 【(4)219千円、(3)222千円】

母乳のことでお困りの方に、助産師が相談を受けます。

場所:区役所健診会場

回数:年24回(月2回・予約制)※30年度までは年36回開催

【母乳育児相談参加者数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度 ※12月末時点
相談者数	165 人	190 人	116人	72 人	62 人

[こども青少年局区配]

○横浜市産後母子ケア事業

外出が困難な状況にある方の居宅に直接助産師が訪問し、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスを受けながら育児方法を学ぶことができる場として、横浜市訪問型母乳相談事業を実施しています。

利用料:1回につき9,000円(自己負担4,000円)

利用回数:産後4か月未満、3回まで(1回につき60~90分程度)

【母子ケア事業利用者数】

	30年度	元年度	2年度	3 年度 ※11月末現在
港 北 区	88人 (174回)	141人 (207回)	102人 (183回)	173人 (310回)
横 浜 市	663人(1,295回)	843人 (1,592回)	677人 (1, 199回)	884人(1,607回)

※30年1月31日より事業開始 訪問実人数 (訪問延べ回数)

○両親教室(初産婦とその家族が対象)※平日のみ

主に平日、区役所で開催する両親教室に加え、土曜日を中心に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで産前産後の両親教室を開催します。

区役所: 3回連続講座×12コース、平日開催(年4回のみ土曜開催)

拠点、ケアプラザ:36回、土曜開催

8 「窓口対応満足度」向上事業 【(4)3,616千円、(3)3,979千円】

お子さまと一緒に来所された方に、お待たせせず適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うために、窓口に案内員を配置します。また養育者が落ち着いて発達の相談ができるように、保育協力者を配置します。

・窓口案内員の配置 平日:163日 土曜:24日(配置人数の増)

【窓口案内員配置日数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3 年度 ※12 月末現在
案内員配置日数	189 回	237 回	211 回	96 回	119 回

9 「保育園等による子育て支援」事業 【(4)420千円、(3)520千円】

(1) わくわく子育て広場

子育て家庭を対象に、認可保育所等を活用した地域における子育て 支援を目的として親子が一緒に参加して楽しめる、公私立保育所合同 の育児講座(食育コーナー、区内保育所紹介パネル、育児講座等)を実 施します。 4 年度も新型コロナウイルスの影響により縮小開催予定で す。

【わくわく子育て広場参加者数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
参加人数	1,194人	1,512人	1,680人	中止	259 人

- ※2年度は新型コロナウイルスの影響により中止
- ※3年度は新型コロナウイルスの影響により、地域別に縮小開催。

(2) ベビーステーション

乳児を子育て中の保護者に向けて外出しやすい環境を整えるため、 オムツの交換や授乳用の場所として保育所や公共施設等を開放する取 組を行います。

より多くの方に利用していただくために、ベビーステーションステッカーを作成し周知します。

【ベビーステーション参加施設数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
参加施設数	81 施設	89 施設	92 施設	94 施設	94 施設

2 - (3)

区内保育所PR事業

(単位:千円)

4予算	1,800
3予算	2,000
増▲減	▲200

こども家庭支援課

【差引理由】

保育所等利用案内の発 行部数減に伴う減など

実施内容

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育士の確保や保育の質向上に向けた取組を 行います。また、区内の保育所情報を掲載した区独自の利用案内等を作成す るとともに、保育・教育制度について情報発信していきます。

【主な内容】

1 保育士確保事業 【(4)550千円、(3)550千円】

保育士の採用や定着に苦慮している保育所に対して区独自で専門のコンサルタントを派遣し、保育所の保育士確保を支援します。

· 対象:港北区内民間保育施設(5園程度)

2 保育・教育情報提供事業 【(4)90千円、(3)90千円】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため接触頻度を減らす必要がある中、複雑な保育・教育制度を理解いただくために、それらを分かりやすく解説した動画の配信を行っています。保護者からよくいただく質問について解説する動画等の制作を行います。



(動画URL:

https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/hoikujo/kohoku_concierge.html) 【作成動画】

3 保育所等利用案内の作成 【(4)910千円、(3)1,060千円】

市の利用案内ではカバーしきれない地区別の認可保育所や認可外保育 所等の情報、保育サービス等について分かりやすく記載した港北区版の 保育所等利用案内を作成します。

・配布場所:区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、 港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」

• 発行部数:13,500部(予定)

【保育所等利用案内の発行部数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
発行部数	12,000 部	12,000 部	14,000 部	13,000部	13,000部



【保育所等利用案内】

4 民間園向け研修 【(4)250千円、(3)300千円】

区内の新規保育所等の増加に伴い、経験の浅い保育士が増えており、 区内保育所全体の保育の質の確保・向上を目指すため、外部講師を招き、 障害児保育、不適切保育の防止等について講義を行います。

【研修内容(案)】

園長や保育士を対象に、研修を実施します。研修内容は、保育現場から 要望が多いものなどをテーマに、講師を招き講義を行います。

研修名	内容	実施時期
児童の人権	子どもの尊重や人権擁護につい て改めて意識を高める	е П -
障害児保育	障害のある児童、配慮を要する 児童等への対応	5月~ 3月 (適宜)
不適切保育の防止	様々な事例を想定し、子どもと の正しい関わり方を整理する	(

2 - (4)

港北区放課後児童健全育成強化事業

(単位:千円)

4予算	250
3予算	300
増▲減	▲ 50

こども家庭支援課

実施内容

【事業の概要】

放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブの施設従事者の人材育成及び施設間の情報共有等による機能の強化に向けた、研修及びグループワークを実施します。

【主な内容】

1 支援員対象研修 【(4)250千円、(3)300千円】

事業所の職員を対象に研修を実施します。研修内容は、特に普段の活動に関わるもの、事業所からの要望が多いものをテーマに、講師を招き講義を行います。

研修名 (予定)	内容	実施時期
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する 児童等への対応	
保護者対応	保護者とのコミュニケーション の取り方について	
 児童虐待について	児童虐待の基礎知識、対応につ	
人材育成・マネジ	いて 現場職員の人材育成、環境づく	6月~2月 (適宜)
メント	りや職場のコミュニケーション	
防犯	不審者侵入時の対応、不審電話 への対応等	
防災(風水害)	風水害時の対応について	

【3年度(12月末現在)】3回開催済(今後3回実施予定)

【対象】放課後児童健全育成事業クラブ(3年12月末現在) 放課後キッズクラブ26か所、放課後児童クラブ32か所、 届出のみ放課後児童健全育成事業所2か所



【3年度 感染症対策研修の様子】

実施内容

2 - (5)

離乳食教室

(単位:千円)

4予算	1,158
3予算	1,158
増▲減	0

福祉保健課

【事業の概要】

食育の第一歩である離乳食について、支援が最も必要な7~8か月児を対象とした離乳食教室を実施します。また、個々の離乳に対する不安や負担感等の軽減を図るために、子どもの個別栄養相談を実施します。さらに、離乳を円滑に進められるように4か月児健診で離乳食手帳を配布します。

【主な内容】

1 離乳食教室の開催 【(4)844千円、(3)844千円】

・回数:年間36回、月3回実施 ・内容:講話・試食・個別相談

•会場:区役所



【離乳食教室】

【離乳食教室の実施回数及び参加者数等】

	29年度	30 年度	元年度*1	2年度**2	3年度 (12月末現在)	
実施回数	36回	36 回	33 回	18 回	27 回	
参加者数	926人	863 人	712 人	119 人	289 人	
コース	7~8か月 1コース					

- ※1 新型コロナウイルスの影響により2月の参加者数減、3月(3回)は 教室を中止
- ※2 新型コロナウイルスの影響により実施回数減(18回)及び参加者数減
 - 2 子どもの個別栄養相談 【(4)72千円、(3)72千円】

・対象者:生後5か月以降の子どもの養育者

・回数:月3回半日、年間36回 ・会場:区役所栄養相談室

・内容:子どもの個別栄養相談(1人当たり約1時間)

【子どもの個別栄養相談実施状況】(健康福祉局区配と合算)

	29年度	30 年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)
相談者数	116人	73 人	93 人	101 人	77 人



【離乳食手帳】

[健康福祉局区配]

- ・健康づくり費:乳幼児食生活健康相談を実施
- ・子どもの個別栄養相談は、区配予算と合算して月3回半日の定例 日を設定した上で、別日も必要に応じて対応
- **3 港北区離乳食手帳の配布** 【(4)242千円、(3)242千円】

離乳食の基礎知識をもってもらうために、離乳食手帳を作成し、4か 月児健診を受診する全ての養育者に配布します。

·作成部数:4,000部(4月発行)

2 - (6)

高齢者・障害者 支え合い推進事業

(単位:千円)

4予算	3,990
3予算	4,293
増▲減	▲303

高齢・障害支援課

【差引理由】

セカンドキャリア地域 起業セミナーの終了に よる減 など

実施内容

【事業の概要】

高齢者・障害者支援についての理解を促進するため、区民向けの広報・啓発事業を実施するとともに、支援者間の連携強化やスキルアップを目的に研修等を開催します。

あわせて、地域における災害時要援護者支援の取組や安否確認に向けた取 組の促進を図ります。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(4)870千円、(3)1,295千円】

(1) 介護予防

地域で介護予防に取り組んでいる自主グループの代表者や元気づく りステーション支援者を対象に、介護予防活動支援者向け研修会を開催します。(12月)

(2) 認知症支援

- ・認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になっても、早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」を運用します。また、パンフレットを増刷し、普及啓発を進めます。
- ・認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師を務めている「認知症キャラバン・メイト」のつどいを開催します。 (9月)
- ・高齢者虐待防止ハンドブックを増刷し、普及啓発を進めます。



【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止ハンドブック】

(3) 地域ケア会議

- ・地域包括ケアシステム構築に有効なツールである地域ケア会議*を効果的に開催できるよう、研修会等を実施します。また、医療・介護・地域組織等の代表者を構成員とする区レベル地域ケア会議を開催します。
- ・地域の居場所や生活支援団体などのインフォーマルサービスを紹介する地域活動情報リーフレットを作成し、普及啓発を進めます。
- ※ 地域ケア会議:多職種協働による個別事例の検討等を通じて、 地域のネットワーク構築や課題共有・解決等を行う会議
- ※ セカンドキャリア地域起業セミナーは事業開始から3年で一定の効果が得られたこと、各地域ケアプラザでも類似事業を展開するようになったことから3年度で終了しました。

<地域包括ケアシステムイメージ図>

横浜型地域包括ケアシステム

地域の助け合い

専門職のサービス

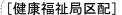
■ いつまでも自分らしい 暮らしを続ける



地域ケアプラザ (地域包括支援センター)

行政 市·区役所

市・区社会福祉協議会



• 介護予防関連事業

地域の活動に歯科衛生士、栄養士、健康運動指導士などの専門職を派遣 することや、元気づくりステーションの支援など

· 認知症関連事業

認知症家族のための介護者セミナーを開催する事や、一般の区民向けの 認知症講演会の開催など

· 虐待予防関連事業

介護サービス従事者等向け虐待防止に関する研修会の開催、虐待防止の ためのネットワークミーティングの開催など



【認知症講演会】

【参考】

港北区における高齢者の状況

28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
66,506人	67,646人	68,416人	69, 251人	69,880人 (市内3位)
19.5%	19.7%	19.7%	19.8%	19.9%
6,427人	6,497人	6,714人	6,964人	6,764人
11,677人	11,917人	12,309人	12,566人	12,840人
	66, 506人 19. 5% 6, 427人	66, 506人 67, 646人 19. 5% 19. 7% 6, 427人 6, 497人	66, 506人 67, 646人 68, 416人 19. 5% 19. 7% 19. 7% 6, 427人 6, 497人 6, 714人	66, 506人 67, 646人 68, 416人 69, 251人 19. 5% 19. 7% 19. 7% 19. 8% 6, 427人 6, 497人 6, 714人 6, 964人

※ 要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の 認知症高齢者の人数

2 障害者支援事業 【(4)720千円、(3)738千円】

(1) 研修・啓発講演会の実施

区自立支援協議会**や作業所等で支援機関の連携強化や職員の支援 技術の向上のために、研修会を開催します。

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います(障害者総合支援法89条の3)。

【過去の啓発講演会テーマ】

	テーマ	参加者数
29年度	災害におけるこころの健康	69人
30年度	死にたい気持ちの受け止め方	20人
元年度	ペットロスについて考える	83人
2年度	中止	_
3年度	アウトリーチ支援を考える (2/14)	_

※29年度は、横浜市立大学と共催で講演会を開催

(2) 健康講座の開催

自身の健康についての知識等を得るために作業所の利用者向けに健 康講座等を開催します。

【健康講座実施状況】

29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
8回	5 回	4 回	1 回	1 回※
95 人	58 人	54 人	13 人	11 人※

^{※3}年度は、3月に第2回を実施予定

(3) 区内事業所紹介パンフレット更新

障害者の地域活動について区民に広く周知を図る目的で活用いただいている、区内事業所を紹介するパンフレットの時点更新を行います。 内容:区内にある事業所の活動内容や製品情報、PRしたいこと等配布場所:区役所、基幹相談支援センター、精神障害者生活支援センター、区社会福祉協議会、区内事業所等

[健康福祉局区配]

精神障害者の生活教室事業

精神障害者の対人関係等の改善や社会生活への適応促進を目的とし、 創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施する。

• 難病相談事業

難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送るために、情報 提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施する。

^{※2}年度は新型コロナウイルスの影響により中止

【参考】

港北区における障害者の状況

1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -					
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
身体障害者手	7 000 1	7 004 1	7 200 1	7 496 1	7 201 1
帳所持者数	7,239人	7,284人	7,320人	7,436人	7,391人
精神保健福祉	2 100 /	2,396人	2,595人	2,755人	1,000.5
手帳所持者数	2, 198人	2, 590/C	2, 595/ <u>\</u>	2, 700/	2,909人
「愛の手帳」	1,985人	2,120人	2,222人	2,308人	2,400人
所持者数	1, 900/	2, 120/	۷, ۷۷۷)	2, 300/ <u>\</u>	2,400/

3 災害時要援護者支援事業 【(4)550千円、(3)410千円】

要電源医療機器使用者の長期停電時における電源確保に向け災害時貸 出用の非常用電源を購入するとともに、発災時に非常用電源を届ける仕 組みをつくります。

4 来庁者窓口サポート事業 【(4)1,850千円、(3)1,850千円】 福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口 での手続き支援や案内を行います。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

29 年度	30 年度	元年度※1	2年度
3,629件	3,669件	2,873件	1,621件

※1 元年度から指定難病の集中受付日を廃止し待機席案内件数が減少

【参考】

港北区における福祉保健相談窓口の相談件数の状況

28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2年度※2
15,643 件	17,086 件	18,584件	19,697件	14,925 件

※2 新型コロナウイルス感染症対策による各種手続簡略化等により減少

2 - (7)

港北区版寄り添い型 生活支援専門員事業 《新規》

(単位:千円)

4予算	1,800
3予算	0
増▲減	1,800

こども家庭支援課

実施内容

【事業の概要】

学齢期の不登校に関する相談が増加しています。不登校の原因には様々な原因がありますが、一つの原因としては、親の関心の低さや疾病等により家族全体の生活が不規則となっていることがあげられます。小学校低学年のうちから起床、朝食の用意、学校の準備、登校を含めて児童が一人でやらなければならない世帯もあります。

一方、学齢期になると、自らの意思により、また気力・活力の低下等により、不登校となる児童も少なくありません。

当事業では学校等と連携し、登校支援や生活支援が必要な児童に対し、個別に訪問し、児童の状況に合わせて、学校等への登校支援や自宅等での生活能力の獲得に向けた生活習慣の実践的な支援を行います。

また必要に応じて、港北区寄り添い型生活支援事業等の利用へ繋げます。

【主な内容】

1 港北区寄り添い型生活支援専門員の派遣事業

【(4)1,800 千円】《新規》

支援専門員の個別訪問による学齢期の登校支援及び生活能力の獲得、生活習慣の実践的な支援を行います。

(1)登校支援

不登校となっている児童について、個別に自宅に訪問し、登校支援 等を行います。

- (2) 自宅での生活能力の獲得に向けた生活習慣の実践的な支援 自宅を訪問し、児童と一緒に自宅での生活支援を行います。
- (3) 児童が安心して過ごせる居場所利用に繋げる支援 児童が安心して過ごせる居場所(寄り添い型生活支援事業、ハート フルスペース等)について、一緒に考え、見学に同行するなど、居場 所利用に向けた支援を行います。

[こども青少年局区配]

・寄り添い型生活支援事業

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択をの幅を広げ、 生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本 的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しています。

局事業

[教育委員会事務局事業]

・ハートフルスペース

不登校状態にある児童生徒に対して、自己肯定感と相互の信頼関係を育み、社会的自立に向けた相談・支援を行います。また、児童生徒の保護者同士の情報交換会を行います。

3 - (1)

地域スポーツ推進事 業

(単位:千円)

4予算	2,275
3予算	1,450
増▲減	825

地域振興課

【差引理由】

大学とのスポーツ連携 事業(旧:ラグビーワ ールドカップレガシー 事業)の一部移管に伴 う増 など

実施内容

【事業の概要】

区内における地域スポーツの推進・活性化を図るため、区内のスポーツ活動を行う団体への補助金交付及び、港北駅伝大会実行委員会への事業補助金交付を行います。

【主な内容】

1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(4)495千円、(3)450千円】 区内のスポーツの振興を図るために、スポーツ活動を行う団体の事業 を補助します。

【港北区スポーツ振興事業補助金の概要】

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させ
	る活動を行う団体の事業を補助することにより、区内
	のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や
	要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民
	の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円(ただし、補助対象経費の2分の1以内)

2 港北駅伝大会開催支援 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を 図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、大会の開催を支 援します。



【会場の様子】



【元年度駅伝大会の様子】

【申込チーム数】

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
245チーム	232チーム	235チーム	中止	中止

※2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止

統合事業費

「スポーツ推進委員支援事業]【(4)2,356千円、(3)2,869千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- ・小学生スポーツフェスティバル運営費

3 大学とのスポーツ連携事業 【(4)780千円】

(大規模スポーツ大会を契機とした地域まちづくり事業より一部移管 3年度予算:1,403千円)

慶應義塾大学等と連携し、ラグビーワールドカップで遺したレガシーを活かし、ラグビーをはじめとするスポーツを通じて区内のスポーツ活動の推進・活性化を図ります。

- ・小学校タグラグビー授業サポート派遣
- ・ラグビー・スポーツ体験会



【小学校タグラグビー 授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ 体験会】

3 - (2)

港北区商店街活性化 事業

(単位:千円)

4予算	1,600
3予算	1,600
増▲減	0

地域振興課

実施内容

【事業の概要】

区内商店街および商店街店舗の盛り上げや利用につながるイベント等の開催や港北区商店街連合会が行う情報発信に対する支援を通じて、消費者の関心・認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援します。

加えて、コロナ禍においても商店街組織が柔軟に活動、情報発信ができるよう、商店街が実施する感染症対策やICT化に対し支援を行います。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】

商店街及び店舗の魅力に触れながら、区内の商店街を巡るイベント「こうほくの商店街 ちょいつまみウォーク」を27年度から元年度まで開催しましたが、2年度からは、新型コロナウイルスの影響により事業形態を変更し、ウェブアプリシステムを活用したデジタルスタンプラリーイベント「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を実施しています。

4年度についても、引き続き実施方法を港北区商店街連合会と調整して「こうほくの商店街 ちょいより散歩」を開催し、商店街を利用するきっかけを創出します。(11月~12月)

【こうほくの商店街ちょいより散歩 実施状況】

元年度までは「こうほくの商店街ちょいつまみウォーク」として実施

	こうほくの商店街 ちょいつまみウォーク						
年度	開催日	参加 商店街 数	参加店舗数	当日 参加者数 (申込者数)	参加費 (保険 料等)	申込方法	優先 申込 ※1
29	11月25日 (土)	11	66	554 人 (655人)	300円 / 1 人	往復 はがき	あり
30	11月24日 (土)	11	60	727 人 (823人)	300円 / 1 人	ウェブ 申込	あり
元	11月23日 (土)	11	56	- ※2 (1,009人)	300円 / 1 人	ウェブ 申込	あり

- ※1 商店街で1,000円以上お買い上げの方に「優先参加申込用紙」を配付。優先参加申込用紙でお申込みいただくと抽選免除になる。
- ※2 元年度については荒天のため中止。

	こうほくの商店街 ちょいより散歩				
年度	開催期間	参加 商店街 数	参加 店舗数	参加者数	
2	11月21日 (土) ~12月6日 (日)	13	- ※3	559人	
3	12月1日 (水) ~ 12月26日 (日)	13	92 ※4	552人	

- ※3 2年度については、原則商店会に加盟する全店舗に参加を依頼したため、参加店舗申込は行っていません。
- ※4 3年度については、参加店舗募集を実施しました。

2 商店街情報発信支援事業 【(4) 200千円、(3)200千円】

港北区商店街連合会に対し、ホームページやSNSでのより効率的かつ効果的な発信のために、立ち上げ・運用・アプローチ手法を含めた広報戦略について支援を行います。コロナ禍において、商店街が身近な存在であるとともに、安心して買い物ができる場であるということを発信することで、商店街の認知度を高め、活性化を図ります。

3 商店街衛生対策支援事業【(4) 400千円、(3) 400千円】

コロナ禍においても、区民の皆さまにとって商店街がより「安心して 買い物ができる場」とするために港北区商店街連合会で購入する衛生対 策品や、オンライン会議に必要な機器購入にかかる経費等について支援 を行うことで、商店街活性化及び消費促進の持続化・効率化につなげま す。

[経済局区配]

港北区商店街活性化イベント事業補助金: 商店街が主催して行うイベント開催経費に対する補助 (3年度実績)

- ・つなしまサマーフェスティバル実行委員会 「つなしまサマーフェスティバル」
- ・日吉普通部通り会 「アートコンクール」

3 - (3)

ウォーキングから始 まる健康づくり事業

(単位:千円)

4予算	971
3予算	1,199
増▲減	▲228

福祉保健課

【差引理由】

広告料見直しによる減 など



【健康測定会】

実施内容

【事業の概要】

ウォーキングをきっかけに健康づくりを推進するため、区民にウォーキングの楽しさや魅力をPRするとともに継続できるよう支援します。

【主な内容】

- 1 ウォーキング継続推進 【(4)139千円、(3)269千円】
- (1) 健康測定会の開催

港北区のイベントや地域会場で、保健活動推進員とともに「健康測定会」を17回開催します。

【健康測定会の実績】

	90 左座	20 年亩	二左由	0 年底※	3 年度*
	29 年度	30 年度	元年度	2 年度*	(12月末現在)
参加者数	840人	1,644人	1,353 人	0人	163 人
実施回数	20回	25回	24 回	0回	8 回
字坛内宏	区民まつり、地区センターや地域ケアプラザまつり等で、				
実施内容	体組成、血圧、足指力、立ち上がりテスト等を実施				

- ※2年度は29回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせました。
- ※3年度は17回の測定会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により5回の実施を見合わせ、人数も絞って今後4回の実施を予定しています。

(2) 保健活動推進員向けの研修会の開催

各地区の健康測定会が充実するよう、区保健師が講師となり、保健 活動推進員に向けた研修を13か所で行います。

- ※3年度実績(12月末現在):4か所開催、79人参加。新型コロナウイルスの影響により8か所実施見合わせ、今後1か所実施予定となっています。
 - (3) ウォーキングサポーター (保健活動推進員) への活動支援

保健活動推進員からウォーキングサポーターを各地区で選出し、歩 数計を持って楽しく歩く各地区におけるウォーキングイベントの企 画及び実施について支援します。

- **2** ウォーキング普及啓発 【(4)832千円、(3)930千円】
- (1) 健康づくりのムーブメントの醸成
 - ・ウォーキングサポーター(保健活動推進員)企画の健康ウォーキングの開催(12月)





【歩こう港北!健康ウォーキング】

・よこはまウォーキングポイント歩数計アプリ登録者を増やすため、 アプリ機能(独自でミッションを定めることができる)を利用したイベントを実施(6月、11月)







【よこはまウォーキングポイント 歩数計アプリ画面】



【雨の日でも歩こう港 北!ショッピングモール で健康ウォーキング】



【(案) 港北区 ウォーキング手帳】

局事業

_____ [健康福祉局事業]

よこはまウォーキングポイント事業

・スマートフォン専用の歩数計アプリを30年度から開始。従来からの 歩数計のみで参加継続することも、歩数計アプリとの併用も可能

【参考】

よこはまウォーキングポイントアプリ登録者数(3年9月末現在)

横浜市	港北区	
76, 253人	7,280人	市の9.5% 区別順位1位

- ・「雨の日でも歩こう港北!ショッピングモールで健康ウォーキング!」の更新(10月) トレッサ横浜と協働し製作したマップを10,000部増刷予定
- ・「港北区ウォーキング手帳」等の既存の媒体を活用し、個人や少人数 でもできる運動を啓発

(2) ウォーキングの習慣化

- ・「港北区ウォーキング手帳」の更新・増刷(6月、4,500部)
- ・健康づくりに取り組む働き世代や区内事業所を取り上げ、地域情報 誌等で紹介
- ・外部講師によるウォーキングミニ講座の実施(4回)

3 - (4)

育もう「ふるさと港北」事業

(単位:千円)

4予算	8,715
3予算	9,715
増▲減	▲ 1,000

地域振興課

【差引理由】

ふるさと港北ふれあい まつり事業における開 催方法の見直しによる 減 など



【ふるさと港北 ふれあいまつり】



【大倉山観梅会】



【小机城址まつり】

実施内容

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への 愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(4)4,560千円、(3)4,860千円】 「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつ り実行委員会に補助金を交付し、子どもから高齢者・障害者・外国人と いった多くの区民が一堂に会する場である「ふるさと港北ふれあいまつ り」を開催します。

【3年度実績】ホームページビュー数:29,285ビュー

• 実施内容

メイン会場行事…ステージイベント、各種ブース出店、抽選会(11月)分会場行事…地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等 (7月~)

健康づくり月間事業…講演会、健康相談等

2 大倉山観梅会事業 【(4)1,150千円、(3)1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に 補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催します。

- ・実施時期 5年2月下旬頃
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元の園児・団体のステージ・野点・ 梅酒の販売

[環境創造局区配]

- ・市民や企業と連携した緑のまちづくり事業 観梅会実行委員会への補助金
- 3 小机城址魅力プロモーション事業 【(4)1,450千円、(3)1,650千円】 小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっている ことを契機に、「ふるさと港北」の意識を育む歴史的なシンボルとして小 机城址の魅力プロモーションに取り組みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光および商店街振興を図るため、小机城址まつり実行委員会に補助金を交付します。

〈小机城址まつり概要〉

- 日程 4月下旬
- ・内容 武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス、 各自治会町内会模擬店



【北条五代観光推進 協議会】



【ランドセルカバー】



【一日区長 就任イベント】



【ペットボトル ロケット大会】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

3年度実施された発掘調査を踏まえ、小机城址を紹介する案内冊子を作成・配布するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、接触なく啓発が行えるよう動画を作成し、区内小・中学校等での活用により啓発を行います。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、小田原市が中心となり北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、北条氏を切り口に共同でPRを実施している「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力をPRします。

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(4)550千円、(3)600千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史に関する映像の制作や、港北区の歴史や見どころ映像をWebサイト「港北映像ライブラリ」で配信し、それらの映像を通じて、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

- ・新規映像や既存映像を活用した配信用映像の制作
- ・Webサイト「港北映像ライブラリ」の運営

5 「スポーツのチカラで港北を元気に! 事業

(4)505千円、(3)655千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」並びに、 2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している 「横浜GRITS」とも連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボ ルとして港北区のプロモーションに取り組みます。

- ・新たな連携ロゴの作成と、連携ロゴを使用した出生届提出者対象のフォトフレーム作成・配布
- ・区内の小学一年生向けにランドセルカバーを港北交通安全協会と連携 して作成・配布
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催

6 青少年活動支援事業 【(4)500千円、(3)500千円】

ペットボトルロケット大会への参加を通じて、区民の親睦や連帯意識 の高揚、家族のふれあいを深めます。

- ・実施時期 11月(鶴見川樽町公園)
- ・実施内容
 - ・ペットボトルで製作したロケットを飛ばし、飛距離を競う

(飛距離部門)。

・ペットボトルロケットのデザインを競う (デザイン部門)。

【ペットボトルロケット大会参加者数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
参加者数	700人	雨天中止	600人	中止	52人
					(デザイン
					部門のみ)

※参加者数は、来場者を含めた概数

3年度は、会場での打上げを中止し、デザイン部門のみ開催しました (作品を区のホームページにて紹介)。

(11月24日時点のアクセス数346件)





【3年度ペットボトルロケット大会デザイン部門】 (左:ホームページの様子、右:提出作品の写真)

※ 港北公会堂リニューアルイベント事業

【(4)0千円、(3)300千円】

港北公会堂リニューアルイベント事業は、リニューアルオープン記念 事業であったため、3年度で終了しました。

実施内容

3 - (5)

地域のチカラ応援事業

(単位:千円)

4予算	3,100
3予算	3,281
増▲減	▲ 181

地域振興課

【差引理由】

市民活動交流会の開催 回数の減 など

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決に向けた主体的な取組を支援するため公益的な活動を行う団体に対して、補助金交付や広報、有識者からの活動に対する助言を行うことによる支援を行います。

また、交流の場の提供などによる団体間の連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業活動補助金の交付等

[(4)2,738千円、(3)2,793千円]

(1) チャレンジコース

区内で一定の活動実績がある団体のさらなる公益的事業を対象に、1団体最長5年間上限30万円の補助金を交付します。

【交付団体数・交付金額】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
団体数	19 団体	19 団体	18 団体	6 団体	7 団体
金額	2,558 千円	2,465 千円	2,768 千円	1,095 千円	1,760 千円

※3年度は新型コロナウイルスの影響により1団体が補助事業を中止

(2) パートナーシップコース

区のエリアより小さな地域の事業に対し、港北区役所の名義使用承認および広報などの活動支援を行います。

【承諾団体数】

	29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
団体数	8団体	8団体	7団体	3団体	7団体

[市民局区配]

元気な地域づくり推進事業(新規申請募集停止)

- ・スタートアップコース:継続3事業
 - 1団体最長2年間上限5万円
- ・地域元気づくりコース:継続3事業

自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円

【交付団体数·交付金額】

		29 年度	30 年度	元年度	2年度	3年度
スタート	団体数	7団体	9 団体	10 団体	4 団体	4 団体
アップ コース	金額	250 千円	354 千円	418 千円	175 千円	200 千円
地域元気	団体数	5団体	6 団体	4 団体	5 団体	3団体
づくり コース	金額	1, 200 千円	1, 237 千円	624 千円	854 千円	750 千円

※3年度は12月末現在

2 団体間の連携促進の取組 【(4)362千円、(3)488千円】

地域のチカラ応援事業活動補助金申請団体による公開提案会、報告会・ 市民活動交流会を開催します。有識者(地域のチカラ応援事業推進懇話 会*委員)からの助言や団体同士の交流会による団体間の連携を促進し ます。

また、補助金交付団体以外の活動団体の交流・情報交換についても促進を図ります。

- ・公開提案会(4月)
- ・報告会・市民活動交流会(3月)
- ・専門家による助言(随時)

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者などで構成されています。(5人)補助金申請団体の活動に関して助言を行います。





【3年度 公開提案会】

[市民局区配]

元気な地域づくり推進事業

・「港北つなぎ塾」(「協働」の地域づくり大学校)の実施 市民活動団体の方や地域で活動されている方々と、区役所職員が、 共に「協働による地域づくり」を推進できるよう、港北区の特性を踏ま えた協働の取組事例を学びつつ、グループワークなどを通して地域課題 の解決手法や魅力づくりを学びあう場です。

事業名等 3-(6)

港北魅力発見事業

(単位:千円)

4予算	3,385
3予算	3,385
増▲減	0

区政推進課



現地公開 【オープンガーデン】

実施内容

【事業の概要】

港北区の魅力を発信し、区民の地域への愛着を深めるためのイベントを 実施します。

【主な内容】

1 オープンガーデン 【(4)2,400千円、(3)2,400千円】

区民の方が、個人のお庭や、街の花壇を巡る中で、花と緑を通して区の魅力を再発見し、地域への愛着を深め、交流を促進することを目的としたイベントを開催します。

4年春に開催の第10回イベントでは、感染症対策を実施しつつ、参加会場のスライドショーの作成や、多世代に楽しみながらお庭を見学してもらえるような企画(スタンプラリー・フォトスポット)の実施を検討していきます。

また秋以降、5年春(第11回イベント)に向けた企画準備を進めます。

≪第10回港北オープンガーデン開催概要≫

開催日:令和4年4月15日から4月17日まで

5月13日から5月15日まで 計6日間

参加会場数:124

[環境創造局区配]

ガーデンシティ事業

第11回オープンガーデンのパンフレット作成及び参加会場交流会の実施

【参考】

オープンガーデン

	開催日数	公開箇所	延べ来場者数
29 年度 (第 5 回)	6 日	84	約 8,300 人
30年度(第6回)	6 日	87	約8,300人
元年度(第7回)	4 日	100	約 8, 400 人
2年度(第8回)*1	中止	107 **2	_
3年度(第9回)	42 日	114	※ 3

- ※1 新型コロナウイルスの影響により中止
- ※2 参加予定数
- ※3 参考数値:のべ約900人(25か所でカウント・2日間) 動画再生回数:43,834回(3年6月21日時点・全94動画合計) 内、最大再生回数動画:5,611回/動画

2 オープンファクトリー 【(4)985千円、(3)985千円】

市内18区の中で最も製造業の事業所が多い港北区において、普段見ることのできない区内企業の工場を見学することで、ものづくりの魅力を発見していただくことを目的としたイベントを開催します。

[経済局区配]

ものづくり経営基盤強化事業 オープンファクトリー委託費の一部

【参考】

オープンファクトリー

	開催日数	見学箇所	延べ参加者数
29年度(第6回)	1 日	14	283人
30年度(第7回)	2 日	11	267人
元年度(第8回)	中止※4	13	_
2年度(第9回)	※ 5	11	5,573回(視聴数)
3年度(第10回)	※ 6	8 (見込)	1月~開催予定

- ※4 新型コロナウイルスの影響により中止
- ※5 オンラインでの動画公開による開催
- ※6 区内小学校を対象にオンラインによる開催

	事業名等
3 — (7)

芸術文化振興事業

(単位:千円)

4予算	2,000
3予算	2,000
増▲減	0

地域振興課

実施内容

【事業の概要】

区内の芸術文化振興を図るため、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業と、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業を実施します。

【主な内容】

- **1 港北芸術祭実行委員会主催事業【(4)2,000千**円、(3)2,000千円】
- (1) 鑑賞型事業
 - ・GENTLE FOREST JAZZ BAND (10月15日 港北公会堂) ビッグコンサートの演奏と歌と踊りを交えた構成によるスイングジャズコンサート。
 - ・落語寄席(1~2月予定 港北公会堂) 落語(3席)と色物(大神楽、手品、紙切り等の中から1つ)で構成する落語寄席。

【3年度 港北芸術祭実行委員会主催事業 鑑賞型】

・狂言(11月28日 障害スポーツ文化センター 横浜ラポール ラポールシアター)来場者:125人





(2) 参加型事業

- ・さわってみよう!筝・尺八(7月30日、8月27日 港北公会堂)
- ・夏休み親子コンサート(8月28日 港北公会堂)
- ・港北区中学校生徒音楽会(10月23日 港北公会堂)
- ・港北芸能大会(11月3日 港北公会堂)
- ・港北区小学校児童音楽会(11月16~18日 港北公会堂)
- ・港北三曲会演奏会(11月19日 港北公会堂)
- ・筆文字で遊ぼう(書道体験教室)(11月予定 港北公会堂)
- ・港北美術展(3月 大倉山記念館)

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度見込み
来場者数	11,681人	9,168人	5,553人	304人	350人
実施事業数	11事業	10事業	9 事業	2事業	4 事業

※29年度は港北芸術祭25周年記念事業実施による増

※元年度(1月以降)、2年度は、新型コロナウイルスの影響により、イベント開催を中止したことによる減

※2年度の港北美術展は新型コロナウイルスの影響により、ホームページ上でオンライン開催

第15回港北美術展 (9月30日~12月31日 閲覧者数:891人) 第16回港北美術展 (3月15日~28日 閲覧者数:1,546人)

[文化観光局区配]

・横浜芸術アクション事業 (音楽):鑑賞型事業「GENTLE FOREST JAZZ BAND」

2 各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい(6月19日 港北公会堂)
- ・港北区合唱の集い(11月13日 港北公会堂)
- ・港北ダンスフェスティバル (12月4日 港北公会堂)
- ・こうほく第九演奏会(12月11日 港北公会堂)

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度見込み
来場者数	13,543人	12,457人	14,777人	2,117人	3,800人
実施事業数	8事業	9事業	11事業	2事業	4事業

※2年度は新型コロナウイルスの影響により、イベント開催を中止したことによる減

【参考】

港北芸術祭実行委員会名簿 (五十音順・3年12月末現在)

鵜澤 聡明	港北区長		
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント		
鎌田 悠紀子	書道家		
川島 武俊	港北区連合町内会長		
五大 路子	女優		
塩坂 靖子	押し花作家		
芳賀 美穂	声楽家		
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者		
堀 了介(会長)	チェロ奏者		
三橋 貴風	尺八演奏家		

3 - (8)

区民活動支援事業

(単位:千円)

4予算	1,678
3予算	1,468
増▲減	210

地域振興課

【差引理由】

Wi-Fi通信費、ICT 講座講師料の増



【情報誌「楽遊学」】



【つながるカフェ】

実施内容

【事業の概要】

区民活動支援センターでは地域活動団体、区民利用施設、居場所運営団体、まちの先生をつなげ、新たな活動が創出されるよう、居場所交流会、つながるカフェ、港北地域学、施設間連携会議、情報誌「楽遊学」の発行など活動支援を行っていきます。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(4)343千円、(3)303千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材貸出などを 行います。





【区民活動支援センター】

【イベント等のチラシの配架】

2 情報誌「楽遊学」の発行【(4)955千円、(3)955千円】

区民活動の喚起のため、団体の活動や活動の場、支援情報の紹介など を掲載した情報誌「楽遊学」を発行します。なお、より幅広い層に知っ ていただくために区内の区民利用施設等の他、地域住民の交流の場であ るコミュニティカフェ等にも配架します。

- ・装丁 A4版 6ページ、年6回発行(3,500部/回)
- 3 市民グループ・団体支援事業 【(4)320千円、(3)210千円】

居場所運営団体をつなげる交流会、ICT講座、ファシリテーターを 交えながら地域活動団体相互のつながりを深め、活動の発展を目指す 「つながるカフェ」の開催、施設間連携会議の開催、「港北地域学」の開 催により新たな担い手、新たな活動の創出につなげます。

グループ・団体の活動拠点となる地区センターや地域ケアプラザなど による「施設間連携会議」を開催します。

- ・6月~9月「つながるカフェ」、10月~12月「ICT講座」、11月~3月「港北地域学」、12月~2月「施設間連携会議」開催予定
- 4 センターICT化事業 【(4)60千円】《新規》

「グループ・団体ガイド」を紙媒体からWebでの発信に切り替えます。窓口相談の際にもタブレットPCの画面を提示しながらWebデータをご案内し、センターのICT化を図ります。

	事業名等
3 — (9)

地域振興活動事業

(単位:千円)

4予算	2,840
3予算	2,120
増▲減	720

地域振興課

【差引理由】

新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止 していた自治会町内会 長感謝会を再開するこ とによる増

実施内容

【事業の概要】

住みよい地域を目指し、研修会等の実施を通じて、住民が協力し合って活動している自治会町内会を支援するとともに、自治会町内会永年在職者の表彰などを通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

- 1 自治会町内会との支援・連携 【(4)1,340千円、(3)1,320千円】 「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付します。
 - ・送付回数:年10回(定例会が休会となる8月と12月を除く毎月)
 - ・送 付 先:自治会町内会 152団体
 - ・送 付 数:議題1件につき掲示物約1,200部、回覧物13,000部等
- 2 自治会町内会長感謝会の実施【(4)1,000千円、(3)300千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を実施し、会長在職5年(区長表彰)、10年以上5年ごと(市長表彰)、地区連合町内会長在職10年(市長表彰)の自治会町内会長永年在職者を表彰します。

3 **自治会町内会のICT化** 【(4)500千円、(3)500千円】

自治会町内会において、ICT等を活用した活動を円滑に推進できるよう、講座の実施などにより引き続き支援していきます。

[市民局区配]

- 地域活動推進費
 - 区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- 防犯灯維持管理費補助金 自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会・町内会館整備費補助金自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費の補助

【参考】

加入促進に向けた取組

- ・ 区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発ごみ袋の作成 区役所では、転入者に配布される「暮らしのガイド」とともに自治会町 内会案内チラシと加入促進啓発ごみ袋を配布します。また、宅建協会加 入店にて転入者に配布します。(30年度に宅建協会と協定を締結)
- 自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはま、タウン誌への記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布(加入促進に関するQAの掲載)
- ・まつりイベントへの広告掲載



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会用案内チラシ】



【加入促進啓発ごみ袋 (バイオマス)】

事業名	¥

3 - (10)読書活動推進事業

(単位:千円)

4予算	800
3予算	800
増▲減	0

地域振興課

【事業の概要】

2年度に策定した「第二次港北区読書活動推進目標」では、多様な区民ニ ーズに合わせた読書のきっかけづくりやICTを活用した情報発信等に取り 組むこととなっています。これを踏まえ、区が図書館や読書関係団体等と連 携し、さらには3年度に設置された図書取次サービス拠点を活用しながら、 読書関連イベントの開催や各種活動の支援、情報発信の強化等、区の地域性 に応じた読書活動を推進します。

実施内容

【参考】

第二次港北区読書活動推進目標(2年度策定)

〔目標1〕子どもたちの成長に応じた読書活動の推進

[目標2] だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりの推進

[目標3] 図書館・関連施設・地域が協働した読書活動の推進

〔目標4〕ふるさと港北を知り学ぶ読書活動の推進

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(4)150千円、(3)150千円】

幼少の頃から子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっ かけづくりを推進します。



絵本を介して親子がふれあうきっかけづくりをするブックガイド 「おひざにだっこで楽しむ絵本」を戸籍課窓口及び乳幼児健診時に配 布します。

(2) 紙芝居制作イベント (7~8月 港北図書館) 主に小学生を対象に、紙芝居制作イベントを開催します。



【紙芝居制作イベント】

(3) 本とであおうイベント(11月 横浜アリーナ)

横浜アリーナが実施する「ヨコアリくんまつり」と併せて、区民が 本に親しみ、楽しむために、読書活動を推進する取組を行います。



【小学生向けおすすめ本の 紹介動画(3年度オンライン 開催用コンテンツ)】



【ブックガイド 「おひざにだっこで 楽しむ絵本」】



【港北区本との出会いマップ 一図書貸出施設・ 閲覧施設ー (3年度改訂)】

2 読書情報発信事業 【(4)430 千円、(3)330 千円】

だれもが読書に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化します。

(1) 各施設からの情報発信の強化 (通年)

図書館や図書取次サービス拠点、地区センター等の読書関連施設で、 新着図書やテーマごとの展示により蔵書の紹介を行うとともに、それ らの施設で、図書の貸出・閲覧ができることを紹介するマップ (3年 度改訂作成)を配布します。

(2) 蔵書情報等の発信(通年)

区内の図書貸出施設や、施設ごとの蔵書等の情報を集約し、ホームページやSNS等、ICTを活用し発信します。

(3) 図書取次サービス拠点における情報発信等(通年)

3年度に設置された図書取次サービス拠点(日吉図書取次所「日吉の本だな」)において、図書の企画展示や読書関連情報の発信などを行うとともに、区内活動団体と連携した企画等の実施を検討します。

3 読書団体連携事業 【(4)220千円、(3)320千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の 読書関連施設や、読み聞かせ等を実施する団体と連携して、情報交換や 交流会等を実施します。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会(年1回)

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー (小・中学校、保育園、図書館、地区センター)で構成する連絡会を 開催します。

(2) 読書フェスティバル(11月)

読書活動推進月間に、区内図書関連施設や図書館で開催されるイベントと区が協働し、本と出会える場所のPRや、読書啓発につなげるための情報提供を実施します。

(3) よみきかせ交流会(年1回)

地域で読書活動する団体の情報交換を目的とした交流会を開催します。

[教育委員会事務局区配]

読書活動推進事業

区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施します。

事業名等 3-(11)

こうほく3R推進事

(単位:千円)

4予算	1,249
3予算	1,592
増▲減	▲343

地域振興課

【差引理由】

事業内容及び物品使途 の見直しによる減

実施内容

【事業の概要】

ョコハマ3R夢プランに基づき、市民・事業者・行政が協働して3Rの推進に取り組むことができるよう、広報・啓発・支援等を行います。

食品ロス削減に向けて、引き続きフードドライブへの協力を呼びかけつつ、 世界的に問題となっているプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発 等を行う必要があります。

また、ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進します。

【主な内容】

- 1 街の美化の推進 【(4)255千円、(3)355千円】
- (1) キャンペーン活動の実施
 - ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発啓発キャンペーン(日吉駅など)(5月、10月、11月)
 - ・地域清掃活動支援 自治会町内会や学校・企業等の地域清掃支援(通年) 不法投棄地域清掃支援(新羽大熊農業専用地区(年2回)) 新横浜駅前周辺清掃(月1回)、横浜アリーナ周辺清掃(月1回)、 日吉駅周辺清掃(年4回) ほか
- (2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作成・設置、不法投棄監視システムの維持管理

- **2 3 R 夢行動の推進** 【(4)994千円、(3)1,237千円】
- (1) 3 R夢行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

「ヨコハマ3R夢プラン」行動の推進及び清潔できれいな街づくりの 推進に功労のあった個人又は団体等の表彰 (2月)

- (2) 3 R夢推進事業
 - · 3 R 夢普及啓発

地域イベント、大型スーパー店頭、分別啓発地域説明会(随時)

- ・生ごみ減量化の取組土壌混合法説明会(月1回・4~10月)
- ・フードドライブの受付及び啓発(随時)
- (3) 3 R夢学習事業

区民向け啓発講座、保育園・小中学校等への出前教室、収集 事務所等での環境学習(随時)



【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R夢活動助成金

- ・3 R 夢プラン行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成 金の支給(年額3万円)
- ・環境事業推進委員への支援(施設見学会)

[資源循環局区配]

ヨコハマ3R夢広報啓発事業 啓発物品の購入費

【参考】

横浜市の家庭ごみ収集量【単位:トン】

	2年度	元年度	増減
燃やすごみ	566, 595	551, 909	14,686 (2.7%)
	[50, 001]	[48, 314]	[1,687 (3.5%)]
その他	269, 206	265, 124	4, 082 (1.5%)
	【24, 985】	[24, 205]	[780 (3.2%)]

※【】内は港北区の数量

※その他は「燃やすごみ」以外のごみ量(不法投棄等)と資源化量の合計 値です

統合事業費

クリーンタウン横浜事業【(4)1,619千円、(3)1,619千円】

【事業の概要】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。

また、30年10月に日吉駅周辺を美化推進重点地区に指定しました。

【主な内容】

- 1 街の美化の推進
- (1) 新横浜駅周辺 (美化推進重点地区及び喫煙禁止地区) 港北区美化推進員活動 (週3回、通年)
- (2) **日吉駅周辺(美化推進重点地区)** 港北区美化推進員活動(週2回、通年) 委託による清掃活動(月1回、通年)

3 - (12)

港北エコアクション 推進事業

(単位:千円)

4予算	3,076
3予算	3,176
増▲減	▲100

区政推進課

【差引理由】

港北水と緑の学校事業 の委託料見直しによる 減

実施内容

【事業の概要】

「温暖化対策」「みどりアップ」「ヨコハマ3R夢プラン」の3つの取組を「港北エコアクション」として一体的に進めます。

また、鶴見川等において、小学生及び一般区民を対象にした環境防災学習 講座「港北水と緑の学校」を実施するとともに、地産地消の取組の普及啓発 を進めます。

【主な内容】

1 港北水と緑の学校事業 【(4)2,600千円、(3)2,700千円】

環境活動や防災活動が継続的に地域に根付くことを目指し、鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施します。

区内小学校向け講座:5~10月(18回)

一般向け講座: 秋ごろ

小学生の学習成果の展示会:2、3月

[環境創造局区配]

市民が森に関わるきっかけづくり事業慶應の森の生きもの探険隊

【港北水と緑の学校事業】

	実施回数	参加者数
29 年度	20回(小学校向け18回、一般向け2回)	1,983人
30 年度	20回(小学校向け18回、一般向け2回)	1,763 人
元年度	20回(小学校向け18回、一般向け2回)	1,904人
2年度	18回(小学校向け 18回、一般向け動画※)	1,242 人
3年度	18回(小学校向け 18回、一般向け動画(3 月公開見込))	1,702人

※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、2・3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

2 屋上庭園等運営事業 【(4)300千円、(3)300千円】

花壇及び屋上庭園部分の維持管理を区民と連携して実施します。 区庁舎及び太尾小学校:通年

3 **港北エコアクション推進事業** 【(4)176千円、(3)176千円】

広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及 啓発を行います。

[環境創造局区配]

身近に農を感じる地産地消の推進事業 港北区直売所マップの更新・増刷等地産地消の推進

【参考】

港北区直売所マップ発行(3年度)

- ・区内の野菜・果物・花苗等の直売所、よこはま地産地消サポート店等紹介(1月発行 11,000部)
- ・転入者セットに同封し、区ホームページにも掲載



【港北区直売所マップ】

3 - (13)

データ活用による まちづくり推進事業

(単位:千円)

4予算	3,230
3予算	1,230
増▲減	2,000

区政推進課

【差引理由】

地域情報データベース 事業の実施による増

実施内容

【事業の概要】

区が直面する課題を官民協働で分析・解決し地域の活性化を図っていくことを目的に、区の統計情報を適切に管理し、オープンデータ化を進める体制を整備します。また、データ活用の推進に向けた事業を展開します。

【主な内容】

1 **データ活用普及推進事業** 【(4)1,000千円、(3)1,000千円】 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(慶應S DM)と連携し、データ活用への興味につなげる取組を実施します。

1	
	実施内容
30年度	・スポーツデータサイエンス体験教室
	・横浜港北スポーツみらいサミット2019
二左由	・スポーツデータサイエンス体験教室
元年度	・スポーツデータ×タグラグビー授業
0 左座	・オンライン運動プログラム
2年度	・港北オンラインラジオ体操
0.左座	・スポーツプロジェクト
3年度	・港北オンラインラジオ体操

【参考】

・スポーツプロジェクト (3年度)

横浜市立日吉台小学校の児童を対象に、GPS受信機及び光電管を活用した50m走測定を実施しました。

ストップウォッチ及び光電管ではタイムを、GPS受信機では最高速度及び最高加速度を測定し、50m走を可視化し検証しました。また、速く走るための運動体験も行いました。

・港北オンラインラジオ体操(3年度)

夏休み期間、ZOOM及びYouTubeを活用し、オンライン上でラジオ体操を実施しました。地域の方をゲストに招き、ICTを活用した地域交流・活性化につなげるとともに、子どもたちをはじめとした区民の皆様に運動機会を提供しました。



【スポーツプロジェクト】



【港北オンラインラジオ体操】

慶應SDMとの連携

29年6月1日に、慶應SDMと港北区は、スポーツデータの活用検討などを実践し、教育研究成果の検証、スポーツを通したコミュニティの創出などにより、相互の更なる発展に寄与することを目的として、連携協定を締結しました。

2 GISの活用推進 【(4)230 千円、(3)230 千円】

位置情報とデータを重ね合わせるGISの活用を進め、情報の地図上での可視化やその調査・分析から、まちづくりに繋げていきます。

3 地域情報データベース 【(4)2,000千円】《新規》

行政が保有するデータを効果的に施策立案等に活用するとともに、区 民等が二次活用できるよう、当該データの維持管理の仕組みづくりを検 討します。

また、データに基づいた視覚的に分かりやすい資料を作成するため、 データ活用ツール(BI ツール及び統合型GIS等)の活用促進を目的 に、庁内職員向け研修を実施します。

3 - (14)

まちづくり調整費

(単位:千円)

4予算	2,690
3予算	2,490
増▲減	200

区政推進課

【差引理由】

区民文化センター愛称 募集の実施に伴う増

実施内容

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決に向けた、調査や関係 機関との調整を行います。

【主な内容】

1 まちづくり調査費・まちづくり調整事務費

[(4)2,490千円、(3)2,490千円]

区の課題に合わせたまちづくり調整の実施。

【参考】

まちづくり調査

5000	HATEL
	実施内容
29年度	港北国際交流ラウンジの活性化検討調査
30年度	篠原城址緑地の魅力発信のための整備図作成
元年度	大倉山駅周辺の案内表示対応
2年度	SIB本格実施に向けたモデル事業として、
2 平度	オンライン健康医療相談サービスを活用した社会実証
3年度	港北区データ整理検討

2 区民文化センター愛称募集【(4)200千円】《新規》

5年度に開館する予定の区民文化センターが、より区民から愛着を持たれる施設となるために、愛称を区民から募集し、区民投票にて決定します。

愛称募集 3年12月22日~4年1月31日

 区民投票
 4年春~夏頃

 最終決定
 4年夏以降

 開館
 5年度下期

【参考】

港北区 区民文化センターの基本理念

「ハートでつながる 私たちのまち」



【基本理念イメージ図】



【区民文化センター ホールイメージ】

区局連携促進事業 (都市整備局)

日吉駅(西口)周辺のまちづくりの推進事業

【(4)10,000千円、(3)5,000千円】

歩行者の安全の確保等が課題となっている日吉駅西口周辺について、歩行空間の確保等に向けたまちづくり手法を検討します。4年度は、アンケート調査等の結果を基に、社会実験計画の作成・実施及び効果検証を行います。

区局連携促進事業(教育委員会事務局)

図書取次サービス拠点における地域交流モデル事業

【(4)1,000千円、(3)500千円】

日吉図書取次所(日吉の本だな)が地域における交流拠点のひとつとなるよう、区や大学、地域団体等との交流モデル事業を行います。

(区や関係団体等との定期的な情報交換や、各種交流イベントの企画、各種情報の発信、区民の活動の場の提供やコーディネート、区民活動支援の一次対応など)

[デジタルプラス事業]

DX推進モデル事業 (産前産後オンライン母子保健相談)

【(4)4,500千円】

[オンライン健康医療相談サービスを活用した検証]

子育て世帯の多い港北区において、妊産婦を対象に夜間等にオンラインで 専門の医師等に相談ができる「オンライン母子保健相談事業」を実施し、産 後うつ等のリスク軽減をはかります。

事業名等 4-(1)

事業

港北区PR情報発信

(単位:千円)

4予算	2,110
3予算	2,110
増▲減	0

区政推進課

実施内容

【事業の概要】

ウェブサイトやツイッター等による迅速な情報発信を通じて、的確に行政情報を提供します。港北区キャラクター「港北区ミズキー」を活用し、区のPRを進めます。

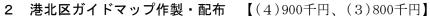
「港北区ガイドマップ」を作製し、主に区内転入者に配布し区域の生活に必要な情報を提供します。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(4)1,210千円、(3)1,310千円】

ウェブサイトやツイッター等を利用し、災害等の緊急情報の注意喚起 やイベント情報、区の魅力アピール等、様々な情報を発信します。

また、港北区制70周年(21年度)を機に作成した区キャラクター「港 北区ミズキー」のイラストや着ぐるみの活用を図り、区のPRに繋げ ます。



地図面と情報面で構成し、地図面は区の主要施設が掲載された全域地図を、情報面は区内の見どころやバス路線図、困ったときの相談窓口等、生活に役立つ情報を掲載し、配布します。

【参考】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)
港北区 ウェブサイト アクセス件数	約271万件	約298万 件	約309万件	約350万 件	約294万件
ツイッター	約4,800	約5,700	約7,700	約8,800	約9,800
フォロワー数	人	人	人	人	人
港北区ミズキ一着ぐるみ利用件数	25件	24件	42件	10件	7件



【港北区ミズキー】

4 - (2)

戸籍課案内サービス 向上事業

(単位:千円)

4予算	5,200
3予算	4,531
増▲減	669

戸籍課

【差引理由】

電話案内事業の単価増 など

実施内容

【事業の概要】

来庁するお客様の待ち時間の短縮に向け、職員を窓口業務に充てるため、 電話対応の一部に専門スキルを持ったオペレーターを活用します。また、窓 口で転入者等にお渡ししている転入者キット(暮らしのガイドに市政・区政 情報を差し込んだもの)について、区内障害者施設に作成を依頼して、作業 の効率化等を図ります。さらに、新規事業として、繁忙期の窓口混雑の緩和 のために、窓口の分散利用を促す広報を行います。

【主な内容】

1 オペレーターによる電話案内事業

【(4) 4,540千円、(3) 4,131千円】

- ・電話オペレーター配置予定日数:計267日間
- ・繁忙期の4年4~5月、5年3月は2人、その他期間は1人配置

【電話案内業務】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
					(見込)
電話受付件数	3,281件	4,101件	5,486件	11,286件	12,340件
オペレーター配置日数	36日	40日	59日	127日	127日
延べ配置人数	53人	65人	115人	280人	334人

[※]元年度までは繁忙期のみの実施でしたが2年度から実施期間を拡大したため 数値が大幅に増加しています。

2 転入者キット作成事業 【(4)460千円、(3)400千円】

- ・作成予定数:7,000部(3年度と同部数作成予定)
- ・作業単価増の見込み

【転入者キット作成数 (3年度見込)】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
400部	600部	600部	600部	400部	800部	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
600部	400部	400部	600部	800部	800部	

3 窓口の分散利用広報事業 【(4)200千円】《新規》

- ・地域紙を活用した広報 1回(2月)
- ・地区センター等の市民利用施設にチラシの配架(2月・40か所)

【参考】

港北区の人口、世帯数、平均世帯人員(住民基本台帳人口)

	29年3月末	30年3月末	元年3月末	2年3月末	3年3月末
人口(A)	342, 513人	344, 336人	347,081人	349,652人	351, 554人
世帯数(B)	166,893世帯	168, 466世帯	170,863世帯	173, 235世帯	175, 307世帯
平均世帯人員(A/B)	2.05人	2.04人	2.03人	2.02人	2.01人

市外からの転入者数(住民基本台帳人口)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
市外からの転入者	数 13,790人	13,977人	14,622人	15,070人	14,451人

※転入世帯数 (2年度)

14,451人 (市外からの転入者数) /2.01人 (平均世帯人員) =7,190世帯 (推計)

[市民局区配]

・戸籍課窓口に加え、「港北区役所マイナンバーカード新横浜臨時窓口」におけるカード交付の実施(3年1月25日開設)

4 - (3)

「仕事力向上」職員 育成事業

(単位:千円)

4予算	700
3予算	820
増▲減	▲ 120

総務課

【差引理由】

ワークスタイル改革研 修を実施しないことに よる減



【CS・ES向上研修 (2年9月)】



【港北区人権啓発・防 災講演会 (元年12 月)】



【市民向け人権啓発 資料(3年1月)】

実施内容

【事業の概要】

運営方針に掲げる5つの仕事力(「聴く力」、「考える力」、「学ぶ力」、「行動する力」、「伝える力」)を向上させるため、自主企画研修及び人権啓発研修等を実施し、CS(顧客満足度)・ES(職員満足度)の向上を図ります。

【主な内容】

- 1 **CS·ES向上研修** 【(4)500千円、(3)620千円】
- (1) 新採用・転入職員向けCS向上研修(4月) 新採用・転入職員に窓口・電話応対研修を実施します。
- (2) 会計年度任用職員向けCS・ES向上研修 (6月) 会計年度任用職員向けに研修を実施します。
- (3) 事務処理ミス防止研修(8月) 責任職、職員、会計年度任用職員に事務処理ミス防止研修を実施し ます。
- (4) 中堅職員向けCS・ES向上研修 (9月) 中堅職員 (区在籍3年目) に研修を実施
- ※状況に応じて資料配布、動画配信を活用するなど、密を回避して実施します。
 - 2 人権啓発講演会等 【(4)200千円、(3)200千円】人権啓発講演会等の市民、職員向けの人権啓発を実施します。

【人権啓発講演会の実施状況】

	テーマ	講師	参加者			
29年度	港北の未来をひらく 〜学校と連携した地域防災拠点 運営に向けて〜	鷲山 龍太郎 (横浜 市立長津田小学校 長)	約400人			
30年度	避難所で本当に命と健康守れますか!? 高齢者・障害のある方・ 女性・子どもなどの視点から	浅野 幸子 (減災と 男女共同参画研修 推進センター共同 代表)	約400人			
元年度	災害時のトイレ問題について 一緒に考えませんか?~災害時 のトイレ問題を「自分事」として 捉えよう~	加藤 篤 (NP0法人日 本トイレ研究所代 表理事)	約400人			
2年度	度 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止※					
3年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマ に動画を撮影し、区HPに掲載するとともに、区及びマリノスの Twitterに投稿					

※ 講演会実施に代わり、市民への人権啓発を目的として、新型コロナウイル ス等の感染症にかかる人権啓発資料を区内の自治会・町内会へ送付

4 - (4)

区民サービス向上・ 環境改善促進推進 事業

(単位:千円)

4予算	9,867
3予算	9,932
増▲減	▲ 65

総務課 地域振興課

実施内容

【事業の概要】

区庁舎をはじめとした区内の区民利用施設等について、新型コロナウイルス感染防止対策を引き続き実施すると共に、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行います。

【主な内容】

1 区庁舎等の環境改善・機能強化

【(4)6,850千円、(3)6,415千円】

- ・区庁舎の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等
- ・2階フロアーのWi-Fi通信費





【防犯カメラリース】

【AEDレンタル】

2 区民利用施設の環境改善・機能強化

【(4)3,017千円、(3)3,517千円】

- ・区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品、委託料、リース料等
- ・子供の遊び場等の樹木保全、子供の遊び場遊具の安全性確保等

施設の斜面地対策については、対応完了により、3年度で終了しました。

実施内容

《参考》

統合事業費

広報よこはま区版 発行事業

(単位:千円)

4予算	12,345
3予算	11,582
増▲減	763

区政推進課

【差引理由】

広報よこはま発行部数 及びデザイン編集委託 の増

【統合事業費の概要】

区の事業や区役所、区内の施設からのお知らせ等を区民に周知するため、広報よこはま区版を発行します。

紙面は、区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業等を紹介する特集面と、区役所や区内施設等が実施するイベント等を紹介するお知らせ面等から構成されています。

広報紙は、原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区のウェブサイトへの掲載やツイッター等で情報を発信しています。また、紙面のオープンデータ化により、民間事業者2社が、スマートフォンやタブレット端末で見やすい体裁に整えて配信しています。

【主な内容】

広報よこはま区版作成 【(4) 12,345千円、(3)11,582千円】

(1) 発行

毎月1日、年12回 173万部(14.4万部/月)発行予定

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ

(3) 紙面構成

・特集・トピックス記事 区の施策で特に力を入れて取り 組んでいる事業やイベント等を 紹介する紙面

<例>

【3年度】7月号特集 「みんなで応援しよう!

東京2020オリンピック・パラリンピック」

10月号特集 「フードドライブしてみませんか?」

・お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

(4) その他

福祉保健センターからのお知らせ

発行:年1回(4年4月号に挟み込み)

仕様:4色刷り、4ページ

内容:検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度 (見込み)
年間部数	162万部	164万部	166万部	166万部	172万部
月平均部数	13.5万部	13.7万部	13.8万部	13.8万部	14.3万部



実施内容

《参考》

統合事業費

広聴相談事業

(単位:千円)

4予算	2,092
3予算	2,092
増▲減	0

区政推進課

【統合事業費の概要】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。また、「市民からの提案」などの広聴制度により、手紙や投稿フォームで寄せられた区民の提案・意見などを受け付けて、回答するとともに内容を公表します。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(4)2,092千円、(3)2,092千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相 談事業を行います。

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題 など法律問題全般について	弁護士	水曜日、 第1·3 木曜日 13:00~16:00
司法書士相談	債務整理(140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見 など	認定司法書士	第 1·3 火曜日 13:00~16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約 などの公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00~15:00
交通事故相談	示談の方法、保険金請求など	交通事 故相談 員	第3金曜日 9:00~12:00 13:00~16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・要望など	行政相 談委員	第2火曜日 13:00~15:00 ※特設相談等 が別にあり

2 特別相談・広聴・窓口案内件数(単位:件)

		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度 (12月末現在)
胜	法律相談	454	471	482	435	312
特別	司法書士相談	128	131	135	40	32
別相	公証相談	29	31	24	10	8
談	交通事故相談	18	19	13	2	6
政人	行政相談	24	23	8	0	0
広耶	徳事業	650	535	709	1083	834
窓口	案内	99, 317	80, 041	77, 003	62, 343	44, 859

実施内容

《参考》

統合事業費

消費生活推進員事業

(単位:千円)

4予算	184
3予算	187
増▲減	▲ 3

地域振興課

【統合事業費の概要】

消費生活推進員の活動を支援するとともに、消費者被害を防止し、地域の消費生活環境の安定・向上を図ることを目的としています。

【主な内容】

- 1 学習・啓発 【(4)144千円、(3)144千円】
- (1) 講演会の開催

区民及び消費生活推進員を対象とした悪質商法未然防止に役立つ講演会を横浜市消費生活総合センターとの共催で実施します。(10月)

(2) 広報紙「あゆみ」の発行

消費者被害未然防止等の啓発や推進員の活動の周知を目的とした広報紙「あゆみ」を作成します。(3月)

2 地域活動支援 【(4)40千円、(3)43千円】

区内全域を対象として広く啓発を行っていくため、関係団体と連携した啓発活動を進めるなど、消費生活推進員が行う消費者被害未然防止・拡大防止に関する啓発講座の開催を支援します。

【港北区消費生活推進員数】

年度	29~30	元~2年度	3~4年度
	年度	(公募)	(公募)
消費生活 推進員数	136人	12人	20人

※任期2年(3年4月~5年3月)

※元年度から募集方法を公募にしたため、人数が減少しています。



【消費者のつどい】



【広報紙「あゆみ」】

実施内容

《参考》

統合事業費

青少年活動支援事業

(単位:千円)

4予算	3,968
3予算	3,328
増▲減	640

地域振興課こども家庭支援課

【差引理由】

2年に1度の青少年指導員改選の年による、 新任者用ユニフォーム 代の増

【統合事業費の概要】

地域における青少年指導員の活動を支援することにより、青少年の健全育成を図ります。

また、社会環境健全化活動を行い、青少年が健やかに育つ環境を作ります。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【(4)2,988千円、(3)2,348千円】

青少年指導員活動費を港北区青少年指導員協議会に交付し、自然体験 教室や研修会の開催、広報誌の発行等を支援します。

【自然体験教室参加者数等】

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
参加者数	167人	135人	96人	_	_
実施場所	宮ケ瀬湖	ソレイユ	湘南国際	*1中止	※2中止
		の丘	めぐりの		
			森		

- ※1 2年度は新型コロナウイルスの影響により中止
- ※2 3年度は自然体験教室を青少年新横浜ウォーキングとして開催する 予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止





【自然体験教室(植樹体験)】

2 社会環境健全化事業 【(4)80千円、(3)80千円】

全市一斉統一行動パトロール活動や社会環境実態調査、全市統一行動キャンペーン活動を通じて、青少年の健全育成を推進します。

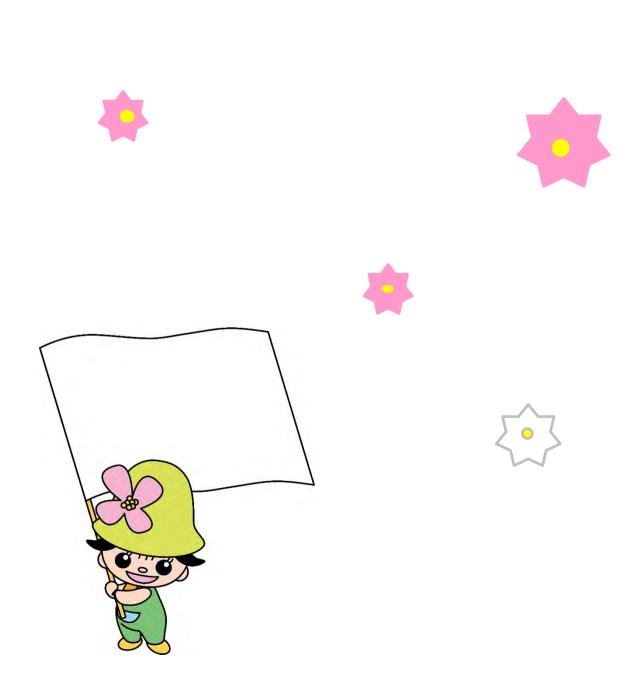
3 学校・家庭・地域連携事業 【(4)900千円、(3)900千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会 (9団体) へ補助金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。

自主企画事業 (再掲)

育もう「ふるさと港北」事業

[青少年活動支援事業(自主企画分)]【(4)500千円、(3)500千円】 ペットボトルロケット大会への参加を通じて、区民の親睦や連帯意識の高揚、家族のふれあいを深める場とします。なお、3年度は新型コロナウイルスの影響により会場で打ち上げる飛距離部門は中止とし、デザイン部門のみ開催しました。



令和4年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応 含む
港北	1	障害児支援制度の確立と支援強化にむけて(モデル事業実施)	障害児支援制度の確立に向けた検討	こども青少年局	0
港北	2	鶴見川周辺(新羽地区・大倉山地区)のまちづくり	橋梁新設の整備検討	道路局	0
15.4L		(橋梁の整備・太尾堤緑道の延伸)	太尾堤緑道の延伸整備の検討調査	環境創造局	0
港北	3	都市計画道路東京丸子横浜線(綱島街道)の早期事 業化	未着手区間における早期事業化のための調整等	道路局	0
港北	4	日吉駅周辺における喫煙禁止地区の指定をはじめ とする喫煙対策の強化	日吉駅周辺における喫煙対策喫煙禁止地区の指定及び喫煙対策の実施	資源循環局	0
港北	5	公立保育所における職場環境改善及び新型コロナ ウイルス感染症対策の推進	1 緊急修繕 2 コロナ禍を乗り切るための各種改修	こども青少年局	0
港北	6	篠原小学校放課後キッズクラブ活動場所の整備	篠原小学校放課後キッズクラブ活動場所の整備	こども青少年局	_